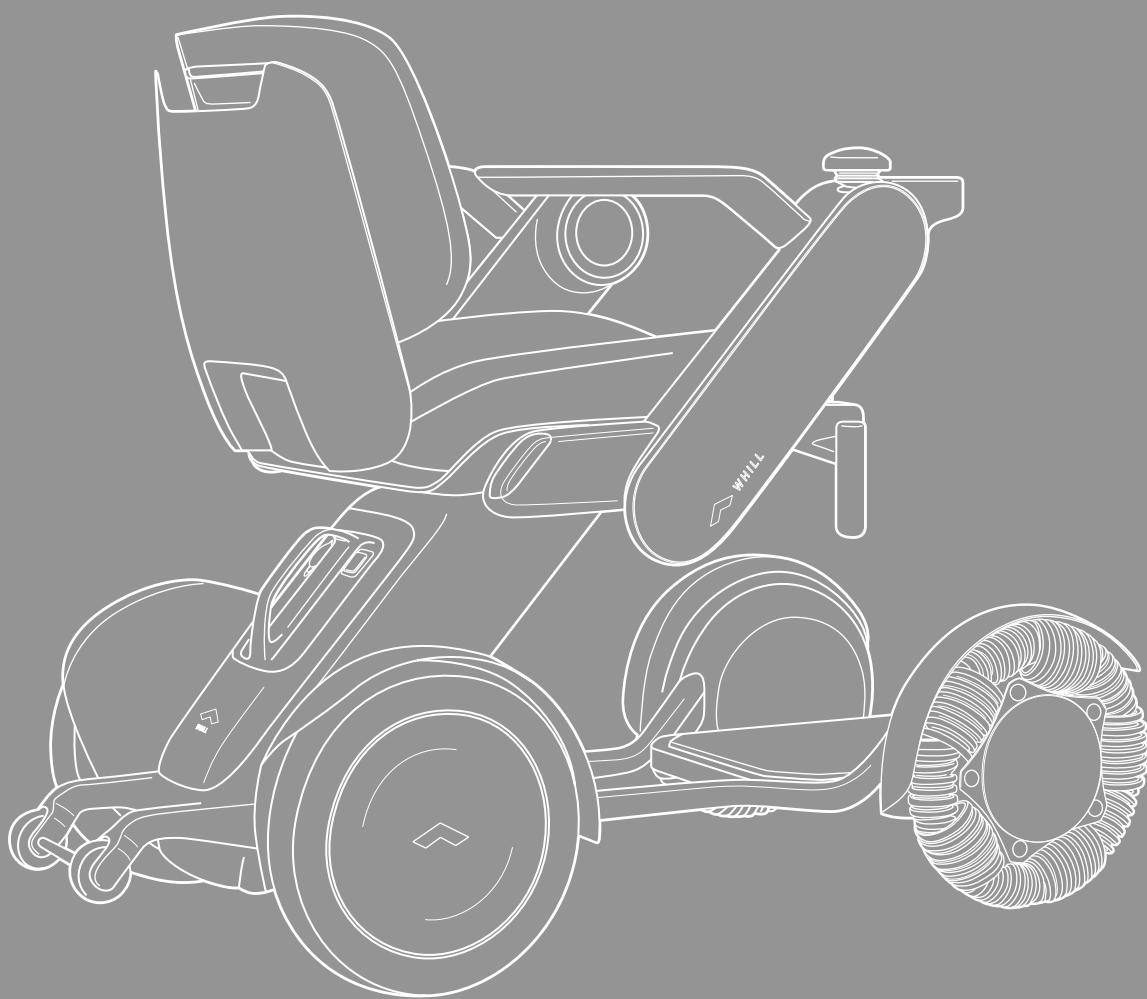




WHILL



# 取扱説明書

WHILL Model C2/CK2

jp-JP

---

# はじめに

この度は、WHILL Model C2/CK2 をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品は、電動車椅子の操作が可能な方が移動手段としてお使いいただけます。

本取扱説明書では、本製品の利用者向けに、速度や方向を制御するコントローラーなどの重要な機能について、安全にお使いいただくための方法を説明しています。また、利用者ご自身で実施していただける基本点検、異常時の対処方法、お手入れ方法についても説明しています。






そのほか、取扱店、営業担当者などが本製品の重要な機能を詳細に理解するために本書を役立てていただくこともできます。本書では、本製品の各部について、文章、図、標準的な用語を使用して説明しています。

当社は利用者の安全、快適性、使いやすさを大切にしています。ご使用前に本書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、本書は、いつでも確認できる場所に大切に保管してください。

- 本書には、機密情報および特許権や著作権の保護対象である情報が含まれており、書面による WHILL 株式会社の明示的な許可を得ず本書の一部あるいは全部を複製、複写することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。  
最新の製品情報については、弊社ウェブサイト (<https://whill.inc>) をご覧ください。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不明な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

# 本書の見かた

本書では、以下のような記号を使って説明しています。記号の付いた指示は必ずお守りください。

記 号	内 容
 警 告	指示を守らなかった場合に、人が重度の傷害を負う可能性が想定される内容です。
 注 意	指示を守らなかった場合に、人が軽度または中度の傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。
	しなければならないことを示しています。
	してはならないことを示しています。
	故障や不具合を防ぐため、および快適に製品を使用するために、必ず読んでいただきたい注意事項や、参考となる情報です。

# 目次

はじめに .....	1
本書の見かた .....	2
1. 安全上のご注意 .....	6
1.1. EMI（電磁波干渉）について .....	10
1.1.1. 一般的な質問と回答 .....	10
1.2. 本体のラベルについて .....	11
2. 製品について .....	12
2.1. 内容物の確認 .....	12
2.2. 各部の名称・はたらき .....	12
2.3. アクセサリー .....	15
3. バッテリーの充電 .....	16
3.1. バッテリー、充電器について .....	18
3.2. 充電方法 .....	19
3.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合 .....	21
3.2.2. バッテリーを外して充電する場合 .....	23
3.2.3. 充電ランプの表示 .....	26
4. 操作方法 .....	28
4.1. 乗車前点検 .....	29
4.2. 乗車する .....	30
4.2.1. 前方から乗車する場合 .....	32
4.2.2. 側方から乗車する場合 .....	33
4.3. シートベルト（オプション）を締める .....	35
4.3.1. シートベルトを外す .....	35
4.4. 電源を入れる .....	36
4.4.1. バッテリー残量を確認する .....	37
4.4.2. 速度を調整する .....	37
4.4.3. サウンドボタンを使用する .....	37
4.5. 運転する .....	38
4.5.1. 前後へ移動する .....	41
4.5.2. 斜め方向へ移動する .....	41
4.5.3. 回転する .....	42
4.5.4. 停止する .....	42
4.5.5. 速度を調整する .....	43
4.5.6. 路面状況ごとの運転 .....	44

4.6.	ブレーキを解除する.....	45
4.6.1.	解除方法 .....	45
4.7.	荷物を持ち運ぶ.....	46
4.8.	鍵をかける.....	48
4.8.1.	ロックする .....	48
4.8.2.	ロックを解除する .....	49
5.	組立・調整・分解.....	50
5.1.	部位の名称 .....	50
5.2.	組立方法 .....	52
5.2.1.	ドライブベースとメインボディの組み立て.....	53
5.2.2.	荷物用バスケットの取り付け .....	54
5.2.3.	シートの組み立て.....	55
5.2.4.	バッテリーの取り付け .....	58
5.3.	調整方法 .....	59
5.3.1.	アームの長さ調整.....	60
5.3.2.	コントローラーの左右位置変更 .....	62
5.3.3.	シートの高さ調整.....	69
5.3.4.	バックサポートの高さ調整 .....	72
5.3.5.	バックサポートの角度調整.....	74
5.4.	分解方法 .....	77
5.4.1.	バッテリーの取り外し .....	78
5.4.2.	シートの取り外し .....	79
5.4.3.	荷物用バスケットの取り外し .....	81
5.4.4.	ドライブベースの取り外し.....	82
6.	運搬・保管方法 .....	84
6.1.	保管 .....	84
6.2.	運搬 .....	85
6.2.1.	各部位の持ちかた.....	86
7.	スマートフォンアプリについて.....	88
8.	保守・点検 .....	90
8.1.	お手入れ.....	90
8.2.	スマートキーの電池交換 .....	91
8.3.	コントローラーの操作部の取り付け.....	93
8.4.	点検 .....	94
8.5.	製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換.....	94
8.6.	廃棄について .....	94

8.7. 保証について .....	95
9. トラブルシューティング .....	96
10. 仕様・試験結果 .....	98
10.1. 仕様 .....	98
10.2. 寸法と試験結果.....	100
索引.....	102
お問い合わせ先 .....	104

# 1. 安全上のご注意

WHILL Model C2/CK2 は安全性に十分配慮して設計、製造されていますが、誤った使いかたをしたり、注意事項を守らないと、人体や家財に損害を与える可能性があります。

安全に関する記載事項は、危害や損傷の大きさと切迫の程度を明示するために「警告」と「注意」に区別しています。警告は、指示を守らなかった場合に、人が重度の障害を負う可能性が想定される内容、注意は、人が軽度または中度の傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。



WHILL Model C2/CK2 は電動車椅子です。本書に記載の内容を正しく理解してから使用を開始してください。電動車椅子の使用が困難な方のご使用は控えてください。また以下に注意してお取り扱いください。

- 一般の舗装路や室内での使用が想定されております。
- 介助者が本製品を操作する場合は、本書をよく読み、使用上の注意などを十分理解して、本製品を使用してください。また、介助が困難な場合は、操作は控えてください。

## 1. 本製品の使用にあたって

### 警告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。  
故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 乗車前に必ず本体のすべての部位がきちんと組み立てられており、なくなっていたり、壊れている部位がないことと、ブレーキがロックされていることを確認してください。  
怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。部品の交換や修理が必要な場合は、使用を中止し、取扱店にご連絡ください。
- バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。  
バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。  
マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。
- 運転しないときは本体の電源を切ってください。  
コントローラーに誤って触れたときに、本体が思わぬ動きをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、乗員と荷物を合わせて 115kg です。本体は耐荷重を守ってご使用ください。  
製品が破損するおそれがあります。

## 警告



- コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。また、コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。  
コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- フットサポートに飛び乗ったり、重い荷物を抱えたままフットサポートに乗るなど、フットサポートに過大な重量を掛けしないでください。  
本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。
- 転倒防止バーに乗らないでください。  
転倒のおそれがあります。また、転倒防止バーが変形し、転倒防止機能が失われる可能性があります。転倒防止バーが変形した場合は交換が必要です。取扱店にご連絡ください。
- テールライト、スイッチ、ディスプレイ、およびラベルの上からシールを貼ったり、ペイントしないでください。  
表示が見えなくなって誤操作の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 人が乗車したままの製品を持ち上げないでください。  
転落や転倒のおそれがあります。
- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。  
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



## 注意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電してください。  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。
- 本体を持ち上げる際は、必ず分解してください。分解した部品を持ち上げる際は、本取扱説明書に指定の部位を持ち、重量に注意してください。  
体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。
- 本体の表面温度に注意して本製品を使用してください。  
外部の熱源にさらされることによって、表面温度が極端に熱くなったり冷たくなったりします。

## 2. 乗車・運転時に守るべきこと

1



### 警告



- 本体から乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。  
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- 夜間など視界の悪いところを走行する際は、使用前にテールライトの点灯が他者から見えることを確認してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 縁石、段差、勾配、溝などは、90°の角度で侵入し、低速でゆっくり走行してください。  
転倒したり、本体が変形する可能性があります。
- 走行中は必ずフットサポートを下げ、足はフットサポートの上に置いてください。  
足が巻き込まれる可能性があります。
- 下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。  
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをロックしてください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 以下の場所は走行しないでください。  
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - エスカレーターや階段
  - 5cm より高い段差
  - 10° 以上の勾配
  - 砂地や沼地などの柔らかい路面
  - 雪道や凍結した路面
- 緊急時を除き、ブレーキを解除して本体を押して移動させないでください。  
ブレーキがかからないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作するようにしてください。  
製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人に介助を求めてください。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。  
誤操作や転倒の可能性があります。

## 3. 組立・調整・分解時の注意

## 警告

1



- 組立・分解は必ず本書で説明されている手順通り行い、本書で説明されていない部位についての分解・調整・修理または改造は行わないでください。

怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

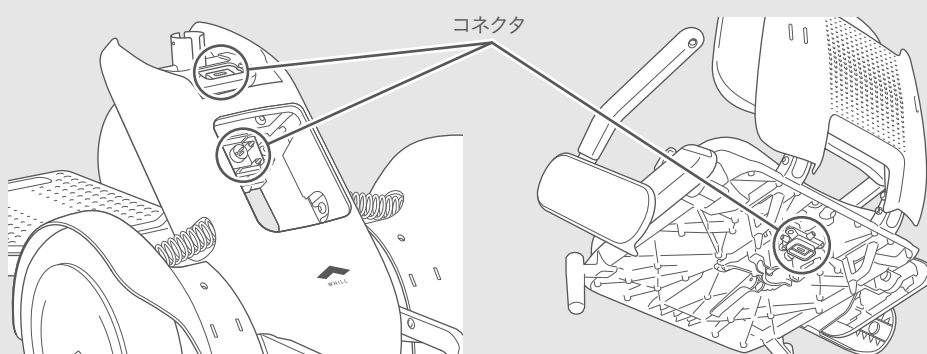
- 組立・調整・分解は、バッテリーを取り外し、ブレーキをロックした状態で、平坦な場所で行ってください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。



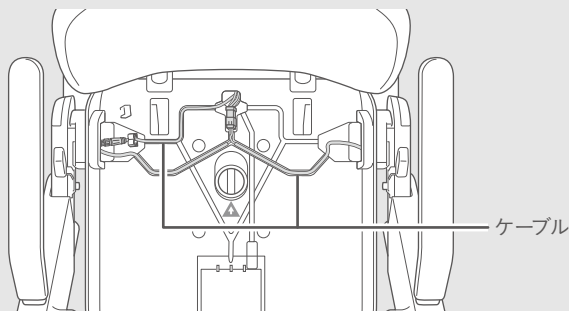
- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。

怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。



- ケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。

ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。



## 1.1. EMI（電磁波干渉）について

電波が原因で、本製品が想定外の動きをすることがあります。高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。電波が本製品の制御機能に干渉するおそれがあります。

また、本製品自体も電磁場を発生させて、近くにある他のデバイスの動作に干渉するおそれがあります。

本製品が想定外の動作をして重大な怪我を負うことを防ぐため、下記の事項に十分に留意してください。

- 本製品の電源が入っている間は、市民ラジオ [CB] などのハンドヘルドトランシーバ（送受信機）を操作したり、携帯電話などの個人用通信機器の電源を入れないでください。
- ラジオ局やテレビ局など、近くの送信機の場所を把握し、なるべく近づかないようにしてください。
- アクセサリーや部品を追加したり、本製品を改造すると、EMI の影響を受けやすくなることに注意してください。

本製品の操作部を操作していないのに動いたり止まったりするなど、本製品が想定外の動作を行った場合は、次のようにしてください。

- 安全を確認できたら、本体の電源を切る。
- そのときに操作部をどのように操作していたか記録する。
- 操作部を使用して起動できなかった本製品の動作を記録する。
- 本製品の近くにある携帯電話などの電波発生源となり得る周囲の電子装置を記録する。

これらの記録を基に電波干渉の原因を考え、原因を取り除いてください。それでも解決しないときは、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。その際、記録したメモをお手元にご用意ください。



電波干渉を受けたと考えられる場合は、電源を切ってバッテリーを取り外してください。

### 1.1.1. 一般的な質問と回答

本製品が EMI（電磁干渉）や RFI（電波干渉）を受けるのをできる限り避けるため、一般的な質問とその回答を以下に示しますので参考にしてください。

#### ● 電波はどこから来るのですか？

電波は、一方向または双方向の無線機器から放射されます。このような機器としては、トランシーバー、携帯電話、無線コンピューターリンク、マイクロ波発生源、無線呼出送信機などがあります。電波は電磁（EM）エネルギーの一形態であり、送信アンテナに近いほどエネルギーは強くなります。この電磁場が、電動装置の利用者にとって問題を引き起こす可能性があります。

#### ● 本製品が EMI や RFI の影響を受けるとしたら、どのような動きを想定しておく必要がありますか？

EMI や RFI は動的变化が非常に大きく、次のような条件によっては本製品に影響を与える可能性があります。

- 電波の周波数と強さ
- 電源装置の構造
- 本製品の傾き（地面が水平か斜面か）
- 本製品の電源が入っているか否か、動いているか否か

本製品が影響を受けた場合、異常な動きを示す可能性があります。勝手に動き出したり急停止したりする可能性もあります。また、強い EMI や RFI の発生により、制御システムが損傷する場合もあります。

## 1.2. 本体のラベルについて

本体を操作するにあたって、危険の存在する箇所に警告ラベルを貼り付けています。また、製品の情報、およびレバーのロック・解除位置など、製品を使用する上で重要な情報をラベルで示しています。

販売される地域およびモデルによって、本取扱説明書で説明されていないラベルがある可能性があります。



### 注 意



- ラベルは絶対に剥がさないでください。  
重要な情報が記載されています。

## 2. 製品について

本製品は、自操用標準形の電動車椅子で、道路交通法第1章（総則）第2条（定義）第1項 11号の3「身体障がい者用の車いす」に該当します。車いすの用途以外には、使用しないでください。

### 2.1. 内容物の確認

本製品には本体を含む以下の内容物があります。使用を開始する前に、不足している物や損傷がないか、必ず確認してください。万一、不足している物があったり、本製品が損傷している場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

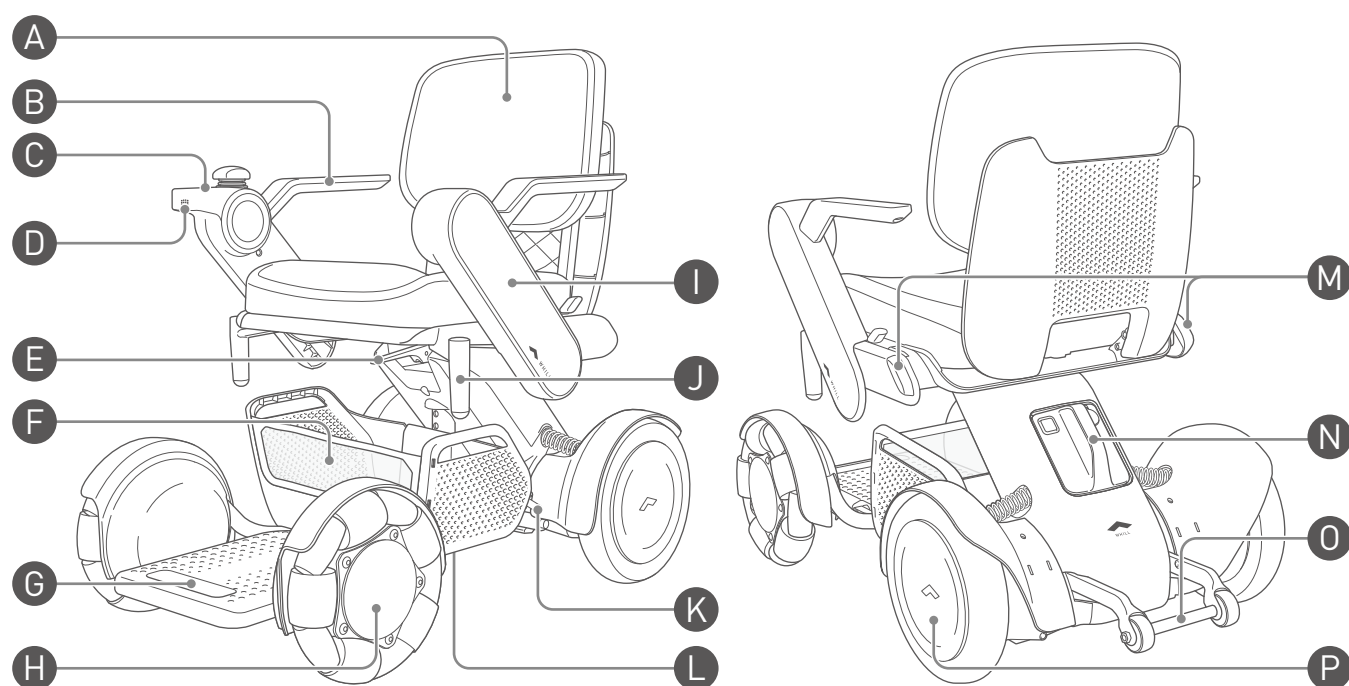
- WHILL Model C2/CK2
- 充電器
- シートベルト（オプション）
- バッテリー
- スマートキー
- 荷物用バスケット
- 取扱説明書（本書）
- 携帯用操作ガイド



開梱するときは、外装を傷つけないように注意してください。

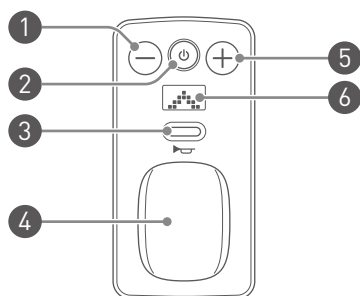
### 2.2. 各部の名称・はたらき

#### ■ 本体



※ 図は右側にコントローラーのあるモデル

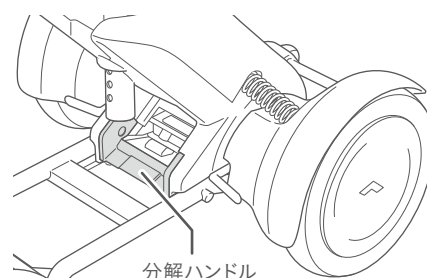
- A バックサポート
- B アームレスト
- C コントローラー



- 1 速度調整ボタン「-」  
最大速度を下げます。
- 2 電源ボタン  
電源をオン/オフします。
- 3 サウンドボタン  
本体から出力される音声をオン/オフします。
- 4 コントローラーヘッド（操作部）  
本体を前後左右に操作することができます。  
コントローラーヘッドの傾き加減により速度の調整もできます。
- 5 速度調整ボタン「+」  
最大速度を上げます。
- 6 ディスプレイ

- D スピーカー
- E シート分解レバー  
シートとメインボディを分解するためのレバーです。
- F 荷物用バスケット  
荷物を入れられるバスケットです。  
座面の下に取り付けて使用します。
- G フットサポート  
座ったときに足を置く台です。
- H 前輪（オムニホイール）
- I アーム  
左右に斜めに伸びる部分です。  
左右どちらのアームにもコントローラーを取り付けることができます。
- J アクセサリー装着バー  
アクセサリを装着したり、本体を固定するときに使用します。

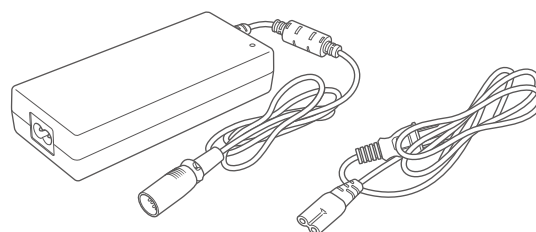
- K ブレーキ解除レバー  
後輪のブレーキを解除するためのレバーです。  
シートの下の両側にあります。
- L 分解ハンドル  
メインボディとドライブベースの結合部です。



- M テールライト  
本体両側に配置された赤い LED ライトです。
- N バッテリー  
詳しくは、「3.1. バッテリー、充電器について」（18 ページ）をご覧ください。
- O 転倒防止バー  
本体が後方に転倒することを防ぐためのバーです。
- P 後輪

## ■ 充電器

バッテリーの充電に使用します。  
詳しくは、「3.1. バッテリー、充電器について」（18 ページ）をご覧ください。



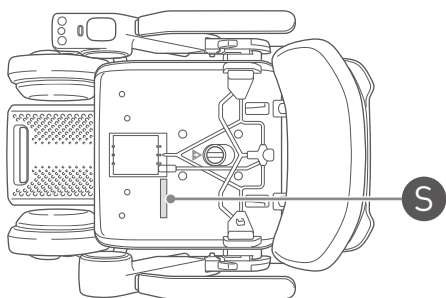
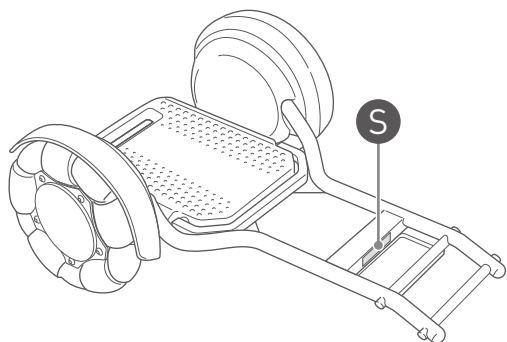
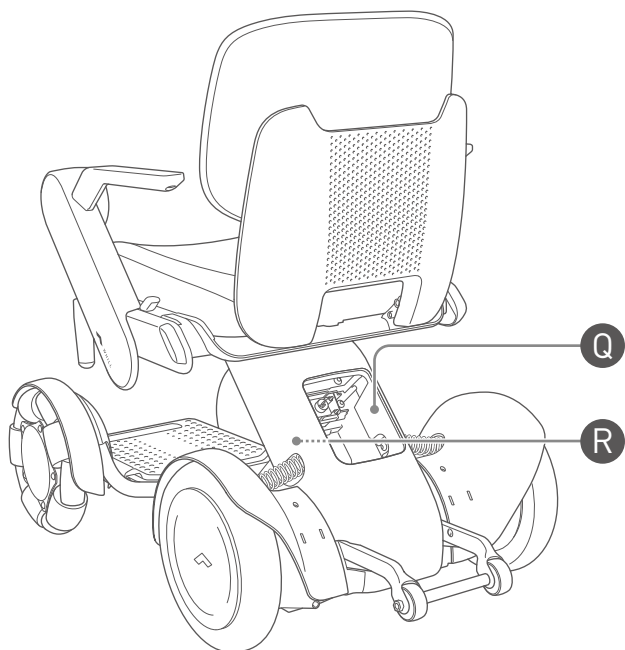
## ■ スマートキー

詳しくは、「4.8. 鍵をかける」（48 ページ）をご覧ください。



## ■ 製品情報

2



### Q 製造販売元ラベル

製造販売元: ja  
WHILL 株式会社  
住所:  
東京都品川区東品川2丁目1番11号

本製品の製造販売元、住所を表示しています。

### R 基本情報ラベル

本製品の製造番号（シリアルナンバー）、UDI（機器固有識別子）を表示しています。

Model C2 Series ja  
製造番号  
[Redacted]  
UDI  
(01) 0 0000000 00000 00 (11) YYMMDD (21) 000000000000  
[Redacted]

### S 製造番号ラベル

Qと同じ製造番号（シリアルナンバー）を分解した各部位に表示しています。WHILL コンタクトデスクにお問い合わせ時には、いずれかのラベルを参照して製造番号をご確認ください。

## 2.3. アクセサリー

アクセサリーは、必ず純正品をご使用ください。

本製品に取り付け可能なアクセサリーについては、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

また WHILL 株式会社ウェブサイト (<https://whill.inc>) もご覧ください。

## 3. バッテリーの充電

WHILL Model C2/CK2 を初めてご使用になる前に、バッテリーを充電してください。

また、外出の前や長期間使用しなかった場合も充電してからご使用ください。

本製品は、理想的な条件で最大 18km 走行できるように設計されていますが、走行可能距離は、坂道、カーブ、段差、地形、運転習慣、荷重、温度などの走行条件により異なります。本製品を長時間使用するために、次の点に注意して使用することをお勧めします。

- 出掛ける前に必ず満充電にしておく
- 荷物の重量をできる限り減らす
- 坂や障害物のない経路を通るように計画する
- 速度を一定に保ち、急停止や頻繁な停止を避ける

### 警 告



- **バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。**  
バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- **バッテリーの充電は、可燃性ガスのないよく換気された環境で、本体の 2 倍以上のスペースを確保して行ってください。**  
可燃性ガスで満たされていたり換気が不十分であったりした場合、爆発やその他の事故を引き起こすおそれがあります。
- **外形に損傷が見られたり、動作などに異常を感じたら速やかに使用・充電を中止し取扱店へお問い合わせください。**  
感電、ショート、発火の恐れがあります。



- **バッテリーや充電器は、絶対に分解しないでください。**  
爆発するおそれがあります。
- **本製品のコネクタには絶対に触れないでください。**  
重傷、感電を招くおそれがあります。また、本製品の保証が無効になります。

### 注 意



- **長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。**  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。
- **充電ポートを使用しないときは、必ずキャップを閉めてください。**  
異物が侵入し、ショートする可能性があります。
- **充電後は充電コネクタをバッテリーから外してください。**  
充電コネクタを長時間バッテリーに接続したままにしておいた場合、バッテリーが劣化するおそれがあります。



- **バッテリーと充電器は、いずれも WHILL Model C2/CK2 専用です。他の充電器での充電や、他のバッテリーの充電はしないでください。**  
故障のおそれがあります。



- 充電されたバッテリーを装着し、電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。
- 充電器は屋内専用です。屋外でバッテリーを充電しないでください。
- 使用後は、毎回充電するよう心がけてください。次回乗車時に満充電のバッテリーを使用することにより、バッテリー残量不足になることを防止できます。緊急の場合、満充電でなくても使用いただけますが、バッテリーの残量が不足すると、走行中に立往生するおそれがあります。
- バッテリーに関するお問い合わせは、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

## 3.1. バッテリー、充電器について

### ■ バッテリー

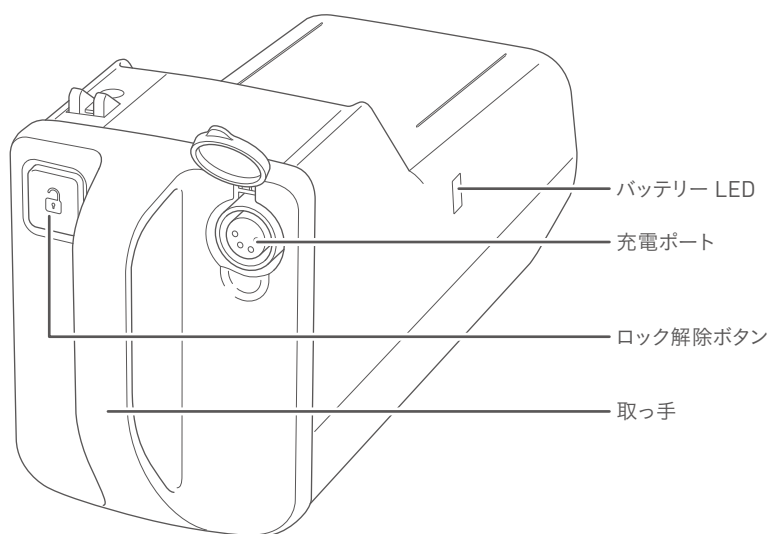
本製品は、電圧 25.3V のリチウムイオンバッテリーを使用しています。



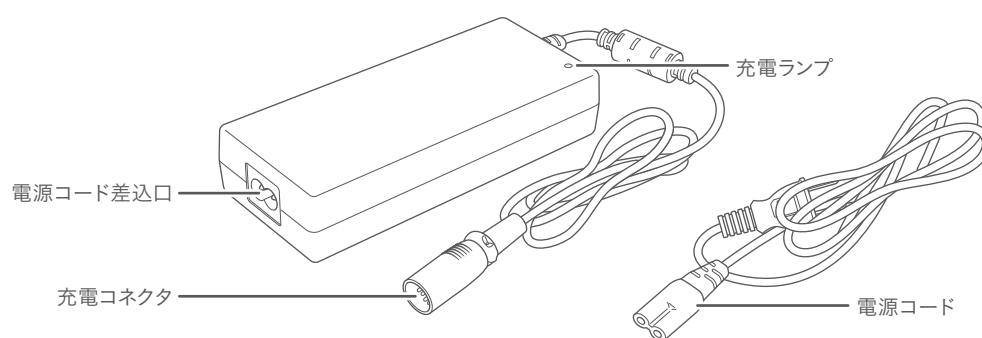
[Model C2 をご利用のお客様] バッテリーを廃棄する際は、リサイクル協力店へお持ちください。

[Model CK2 をご利用のお客様] 取扱店へお持ちください。

3



### ■ 充電器



## 3.2. 充電方法

初めてご使用になるときや、外出の前、長期間使用しなかった場合は、必ずバッテリーを充電してからご使用ください。  
バッテリーを充電するには、本体にバッテリーを取り付けたまま行う場合と、バッテリーを本体から取り外して行う場合の 2 通りの方法があります。

### 警 告



- **家庭用電源で充電してください。**  
感電や、ショート、発火の原因となります。100-240V、50-60Hz の壁面コンセントを使用して充電してください。
- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。**  
マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。



- **充電中、充電直後のバッテリーや充電器に触れないようにしてください。**  
低温やけどのおそれがあります。
- **コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。**  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
- **充電器には、延長コードを使用しないでください。**  
感電や、ショート、発火の原因となります。
- **電源コードは、無理な力で引っ張らないでください。**  
感電や、ショート、発火の原因となります。
- **濡れた手で充電しないでください。**  
感電するおそれがあります。

### 注 意



- **温度 0 ～ 40℃の環境で充電してください。**  
指定以外の温度環境では充電ができない場合があります。また、バッテリーの劣化や損傷につながるおそれがあります。
- **長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。**  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。



- **ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。**  
本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **本製品に同梱されている充電器と電源コード以外は使用しないでください。**  
指定以外の充電器と電源コードを使用すると、感電したり、充電器が発熱してやけどをするおそれがあります。また、本製品に同梱されている充電器と電源コードを本製品以外で使用することはできません。

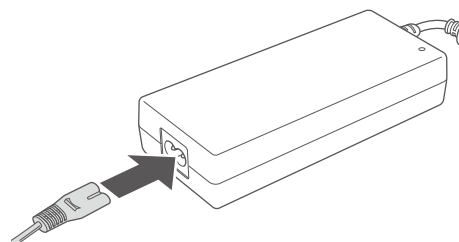


- 本製品はバッテリーを充電しながら使用することはできません。
- 充電時間の目安は、約 5 時間です。
- 充電器は過充電を防止できるように設計されています。5 時間以上コンセントに差し込んでも製品を損傷する心配はありませんが、安全のため、長時間壁面コンセントに充電器を差し込んでおくことは避けてください。
- 充電完了後は、速やかにバッテリーから充電コネクタを取り外してください。
- 充電後の使用可能時間が異常に短くなるなど、寿命が近づいてバッテリーの交換が必要であると思われる場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

### 3.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合

安全のため、充電中に本体の電源を入れることはできません。

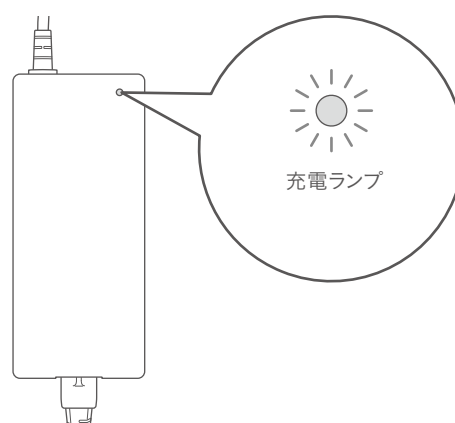
1. 本体をコンセントの近くに移動させます。
2. 本体の電源を切ります。
3. 充電器と電源コードを接続します。



4. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。  
充電ランプが赤点灯します。



充電ランプが赤点灯する場合は、充電器がコンセントに接続され、バッテリーには接続されていない状態を示しています。

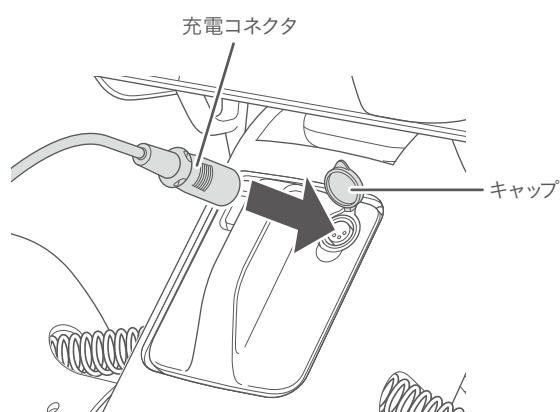


5. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。

充電コネクタの向きを確認して、接続してください。  
充電ランプが緑点滅し、充電が開始されます。

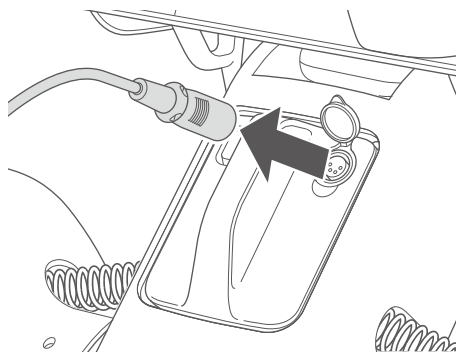


- 充電ランプが赤点滅する場合は、きちんと接続されていません。再度、接続し直してください。
- 数回接続し直しても充電ランプが赤点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、別の充電器を使用している可能性があります。充電ランプが緑色に点滅することを確認してください。



6. 充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。

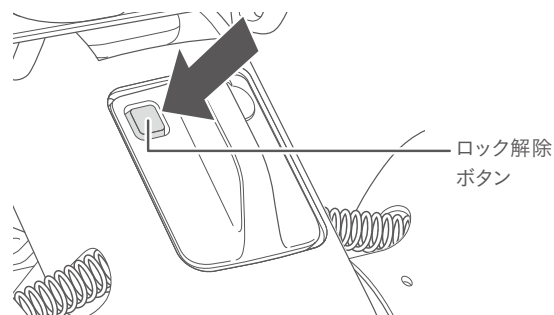
7. まず、バッテリーから充電コネクタを抜き、次に壁面コンセントからプラグを外します。



8. 充電ポートのキャップを閉じます。

## 3.2.2. バッテリーを外して充電する場合

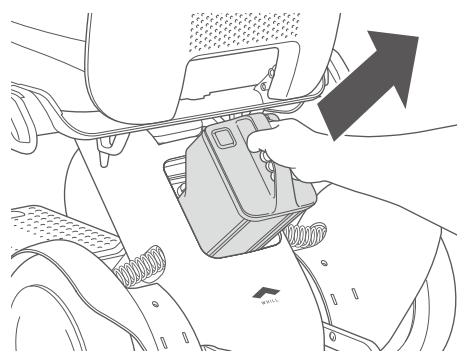
1. 本体の電源が切れていることを確認します。
2. バッテリーのロック解除ボタンを押します。



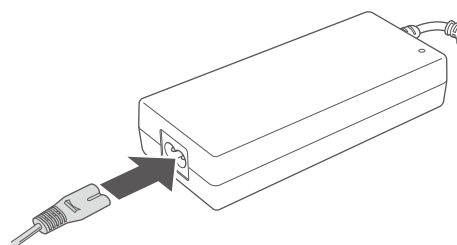
3. 取っ手を持って手前に引き、バッテリーを取り外します。



バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないように注意して取り外してください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。



4. 充電器と電源コードを接続します。

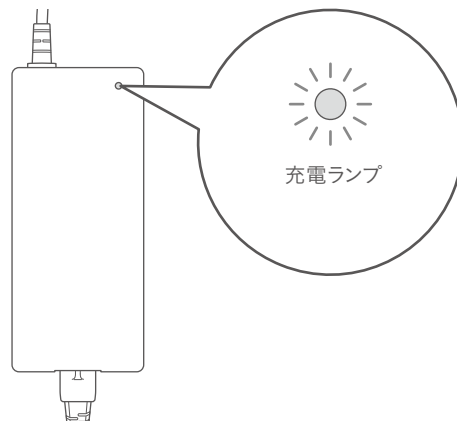


## 5. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。

充電ランプが赤点灯します。



充電ランプが赤点灯する場合は、充電器がコンセントに接続され、バッテリーには接続されていない状態を示しています。



## 3

## 6. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。

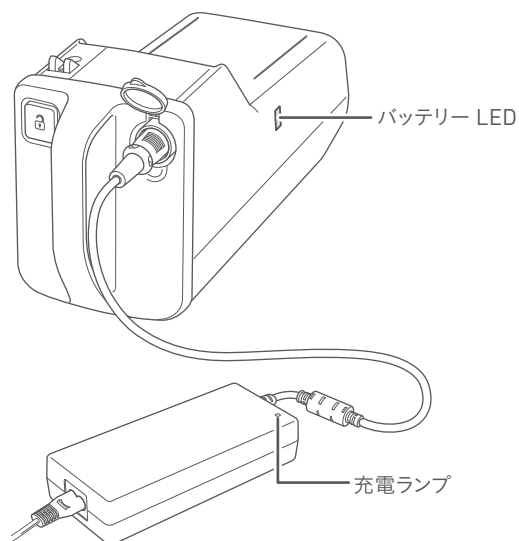
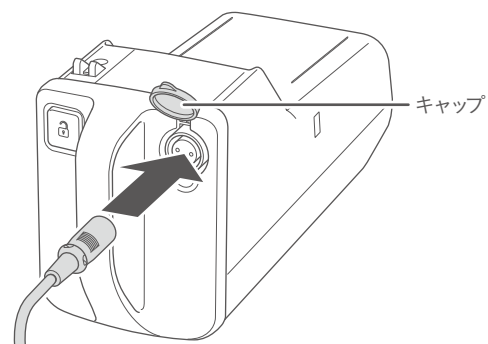
充電コネクタの向きを確認して、接続してください。  
充電ランプが緑点滅し、充電が開始されます。

バッテリー充電の状態はバッテリー LED で確認できます。

- 満充電：緑色
- 約 30% ～満充電未満：オレンジ色
- 約 30% 未満：赤色
- 残量なし：紫色



- 充電ランプが赤点滅する場合は、きちんと接続されていません。再度、接続し直してください。
- 数回接続し直しても充電ランプが赤点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、別の充電器を使用している可能性があります。

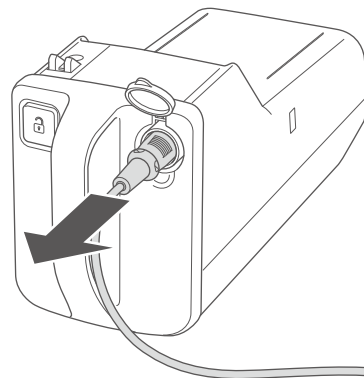


## 7. 充電ランプが緑点灯およびバッテリー LED が緑点灯したら、充電完了です。



バッテリー LED は充電完了後、一定時間が経過すると消灯します。

8. まず、バッテリーから充電コネクタを抜き、次に壁面コンセントからプラグを外します。



9. 充電ポートのキャップを閉じます。

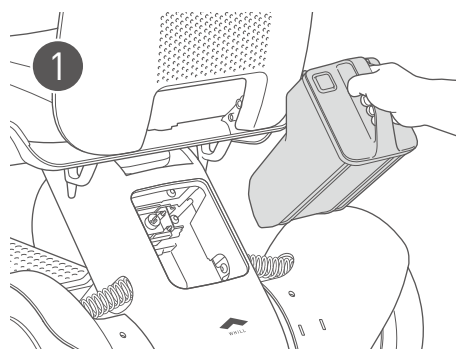
10. バッテリーを本体に取り付けます。

ロック解除ボタンが押されていないことを確認してください。

- ① バッテリーの取っ手を持って、バッテリー取り付け部に差し込みます。

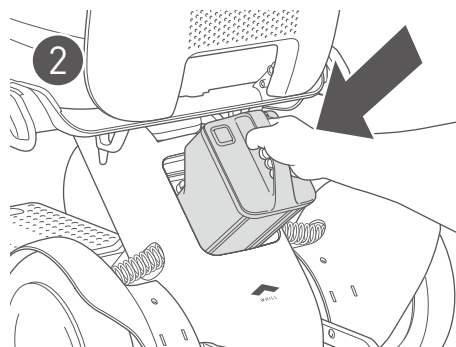


バッテリーは2.7kgの重量があります。落とさないように注意して取り扱ってください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。



- ② バッテリーをまっすぐ入れ、カチッとハマるまで差し込んでください。挿入しにくいときは、手前から勢いをつけて押し込んでください。

バッテリー挿入時に違和感を感じた場合は、バッテリーコネクタ部分にキャップがついている可能性や、異物が侵入しているおそれがあります。ライトで照らすなどして、それらの有無をお確かめください。異物があつた場合は、小さなブラシなどを用いて取り除いてください。



---

### 3.2.3. 充電ランプの表示

充電器の充電ランプは、状況に応じて以下のように点灯／点滅します。

- 緑点滅：充電中
- 緑点灯：充電完了
- 赤点灯：スタンバイ状態
- 赤点滅：充電エラー※

※充電ランプが赤点滅している場合は充電できません。

壁面コンセントからプラグを抜いて、充電ランプが消灯してから再度プラグを接続してください。

それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。



## 4. 操作方法

ここでは、本体の乗車や操作方法、運転方法などについて説明します。



### 警告



- コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。また、コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。

コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。



### 注意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電してください。

バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。



初めて本体を使用するときは、どなたかがそばにいる環境で使用されることを推奨します。

## 4.1. 乗車前点検

乗車前に、毎回以下の点検を行ってください。

### ■ 点検内容

#### 1. 電源が切れた状態での点検

##### 組立

- すべての部位がきちんと組み立てられていて、なくなっていたり、壊れていたり、損傷したり緩んでいる部位がないか
- シート分解レバーや分解ハンドルがきちんとロックされているか

##### 機能

- コントローラーの操作部はスムーズに動かせるか
- ブレーキを解除して手で押すことができるか、またブレーキをロックしたときに、本体を押しても動かないか

##### 車輪

- 前輪（オムニホイール）または後輪に亀裂が入ったり、変形したりしていないか
- 後輪の表面が摩耗して、溝の深さが 0.5mm 程度になっていないか
- 前輪（オムニホイール）の溝の深さが 0.5mm 程度になったり、芯部分の金属が露出していないか

#### 2. 電源を入れた状態での点検

- バッテリー残量が十分か
- スイッチ類が機能しているか
- ディスプレイが正しく表示されるか
- サウンドボタンを押したときに音が聞こえるか
- タイヤ回転時に異常な音がしないか



上記の点検で、ご自身で解決できない異常がみられた場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。



### 警告



- 乗車前に必ず本体のすべての部位がきちんと組み立てられており、なくなっていたり、壊れている部位がないことと、ブレーキがロックされていることを確認してください。  
怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。部品の交換や修理が必要な場合は、使用を中止し、取扱店にご連絡ください。



### 注意



- 転倒防止バーに乗らないでください。  
転倒のおそれがあります。また、転倒防止バーが変形し、転倒防止機能が失われる可能性があります。転倒防止バーが変形した場合は交換が必要です。取扱店にご連絡ください。

## 4.2. 乗車する

使用前に必ず本書をお読みください。内容を正しく理解してから、ご使用ください。

乗車の際は、以下に注意してください。

### 警 告



- 本体から乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。  
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 使用前に必ずブレーキロックがかかっていることをご確認ください。また、ブレーキが解除された状態で本製品を放置しないでください。  
ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。
- 体がシートに安定しない場合は、常にシートベルト（オプション）を着用してください。  
体が本体から落下するおそれがあります。お使いの製品がシートベルトを装備していない場合は、取扱店までお問い合わせください。
- 本製品の耐荷重は乗員と荷物を合わせて 115 kg です。本体は耐荷量を守って使用してください。  
製品が破損するおそれがあります。
- お手持ちのクッションを使用する場合は、安全のため、十分な難燃性を有するものをお使いください。



- コントローラーおよびアクセサリ装着バーには体重を掛けしないでください。  
部品が外れたり、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- フットサポートに飛び乗ったり、重い荷物を抱えたままフットサポートに乗るなど、フットサポートに過大な重量を掛けしないでください。  
本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。

### 注 意



- アームを操作する際は回転部分に手指をはさまないようにご注意ください。  
怪我をするおそれがあります。
- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で動作を確認してから走行してください。  
製品が想定外の動きをするおそれがあります。
- バックサポートは固定されていません。移乗時などは充分注意してください。  
思わぬ怪我をするおそれがあります。
- お使いの製品がシートベルト（オプション）を装備している場合は、シートベルトを着用してください。  
思わぬ怪我をするおそれがあります。
- クッションを交換する際は、取扱店にご連絡ください。  
適切な位置に取り付けなかった場合、怪我をするおそれがあります。



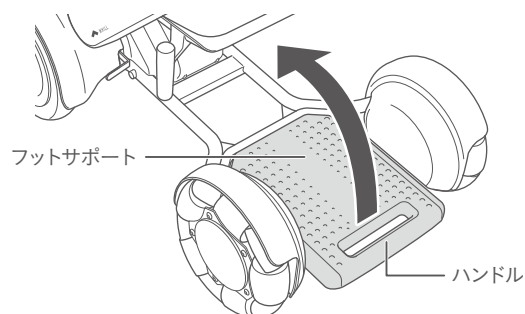
- 横方向から力をかけないでください。  
本体が滑る可能性があります。横から強く押したり引いたりしないでください。



本製品の走行可能距離や走行スピードは、坂道、カーブ、段差、地形、荷重、温度などの走行条件で異なります。状況によって急停止する可能性もあります。使用中に発生するエラーについては、「9. トラブルシューティング」(96 ページ) をご確認ください。

### 4.2.1. 前方から乗車する場合

1. 電源が入っていないことを確認します。
2. ハンドルを手で持ってフットサポートを上げます。

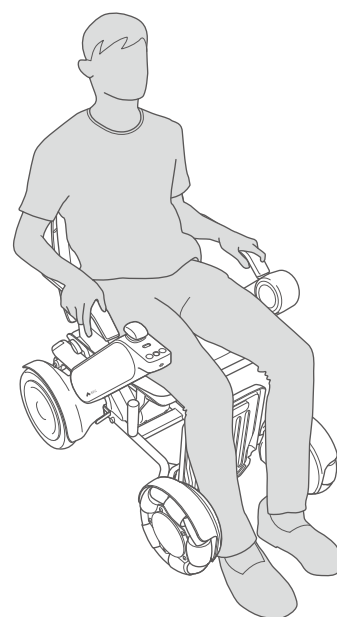


4

3. シートに座ります。



- コントローラーに手が触れないように注意してください。
- バックサポートは前方に倒れる仕様になっていますので、前方向に引き寄せたり、力を掛けないでください。バックサポートが倒れて、思わぬ怪我をするおそれがあります。



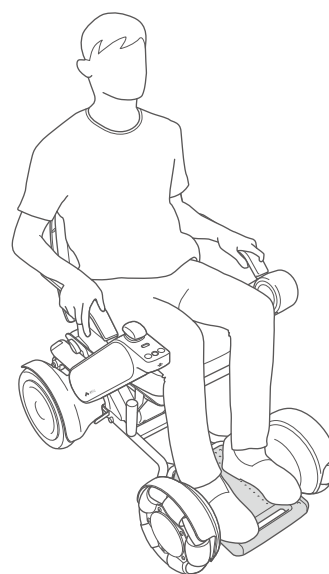
4. フットサポートを下げます。



#### 警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

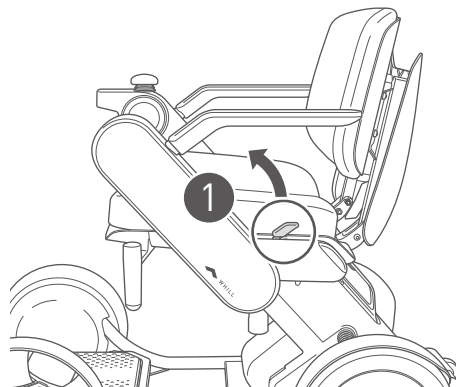
本体の組立・調整・分解・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



### 4.2.2. 側方から乗車する場合

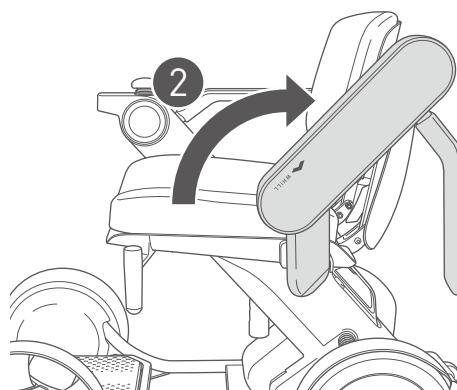
座っている椅子などから乗車する場合は、以下のように乗車することをお勧めします。

1. 電源が入っていないことを確認します。
2. アームを上げます。
  - ① アームロックレバーを斜めに引き上げます。  
アームのロックが解除されます。



4

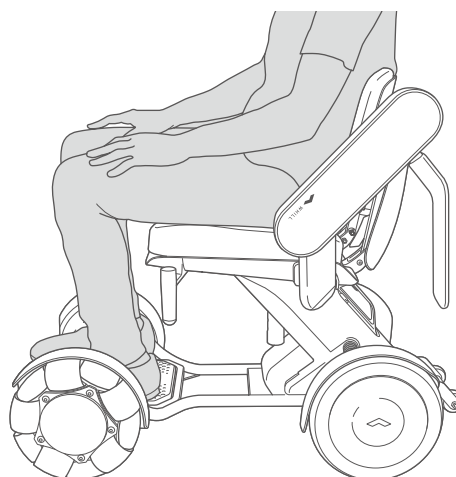
- ② アームを後方に回転させます。



3. シートに乗車します。



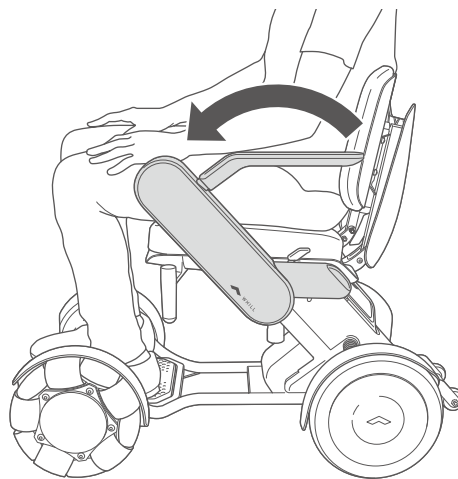
- コントローラーに手が触れないように注意してください。
- バックサポートは前方に倒れる仕様になっていますので、前方向に引き寄せたり、力を掛けないでください。バックサポートが倒れて、思わぬ怪我をするおそれがあります。



#### 4. アームを前方に回転させます。



アームがロックされたことを確認してください。

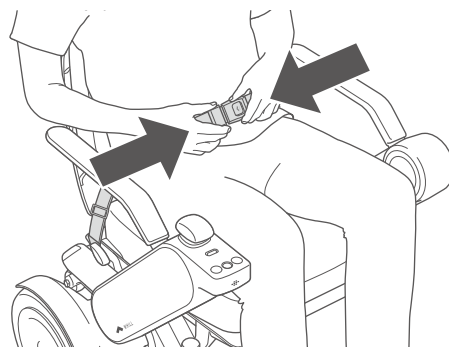


### 4.3. シートベルト（オプション）を締める

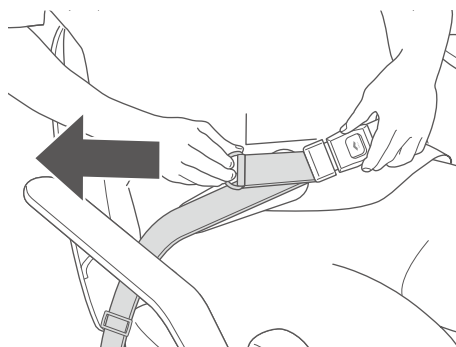
お使いの製品がシートベルトを装備している場合は、シートベルトを締めてください。

#### 1. シートベルトを締めます。

カチッと音がするまで、バックルを留めてください。



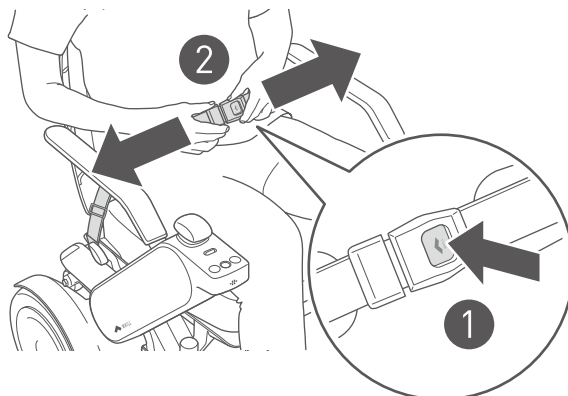
体が固定されるように、ベルトを締めて長さを調整してください。



4

#### 4.3.1. シートベルトを外す

1. ① シートベルトのバックルのボタンを押して、② シートベルトを外します。



## 4.4. 電源を入れる

### ⚠ 警告



- ブレーキをロックした状態で電源を入れてください。  
ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。



- コントローラーのスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。  
コントローラーが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。

### ⚠ 注意



- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で、必ず本体の動作を確認してから走行してください。  
製品が想定外の動きをするおそれがあります。

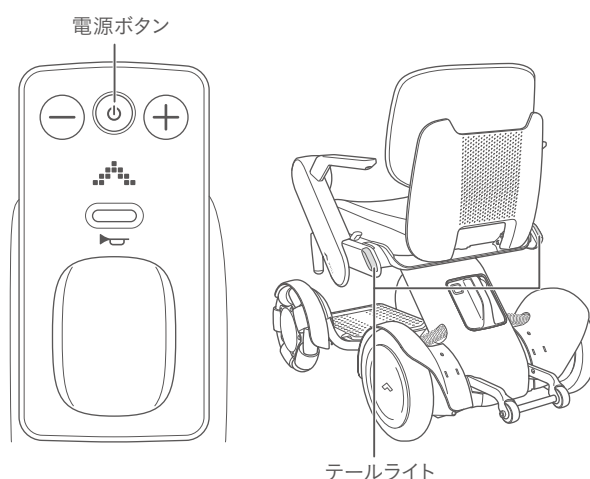
4

#### 1. 電源ボタンを押します。

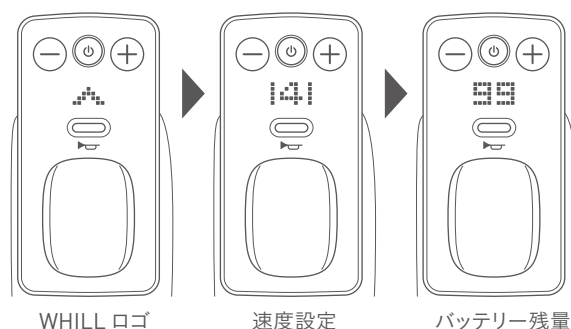
電源が入り、テールライトが点灯します。



充電されたバッテリーを装着し、電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10 秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。



電源を入れると、ディスプレイに、まず WHILL のロゴが表示され、次に現在の速度設定が表示されます。しばらくすると、バッテリー残量表示に切り替わります。再度、速度設定を確認したい場合は、電源を入れ直すか、速度調整ボタンを押して速度の調整を行ってください。



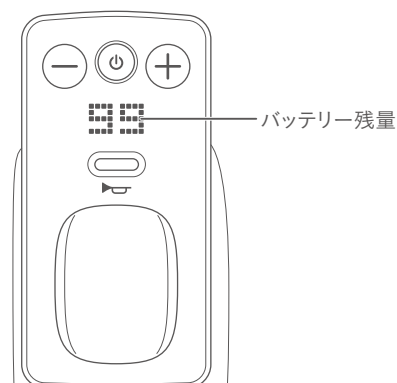
### 4.4.1. バッテリー残量を確認する

1. バッテリー残量は、ディスプレイに 0 ～ 100 の数値が 1 刻みで表示されます。

満充電の場合は「100」と表示されます。



リチウムイオン電池の特性により、バッテリー残量の減り方は、環境やバッテリーの状態などさまざまな要因によって変化します。走行距離にかかわらず、事前にバッテリーを満充電にしたうえで使用を開始してください。



4

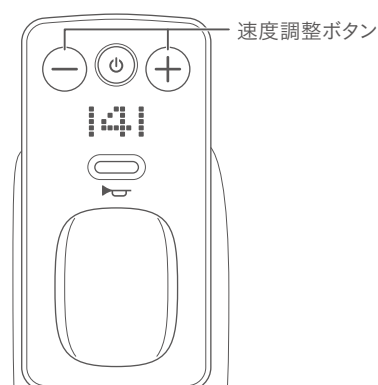
### 4.4.2. 速度を調整する

1. 速度調整ボタンを操作することで、1（遅い）から 4（速い）の 4 段階で最高速度（コントローラーの操作部を奥まで倒したときの速度）を調整することが出来ます。

＋のボタン：最高速度を速くする

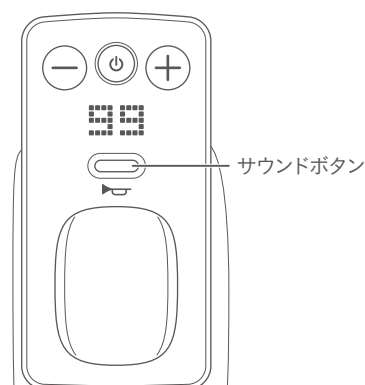
－のボタン：最高速度を遅くする

本体の速度は操作部の傾きで調整することができます。



### 4.4.3. サウンドボタンを使用する

1. 周囲に存在を伝える場合などに、サウンドボタンを押すことで、通知音を鳴らすことができます。



## 4.5. 運転する

コントローラーの操作部を前後左右に倒すことで、任意の方向に移動することができます。操作部を倒す角度により、速度を調整することもできます。

操作部から手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。

道路を運転する際は、交通法規、および交通マナーを遵守して、安全に運転してください。



運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。



### 警告



- **バッテリーがロックされたことを確認して走行してください。**  
本体との接続に異常が生じ、走行中に停止するおそれがあります。
- **手袋をして操作する場合は、手袋を挟まないように注意してください。**  
手袋が操作部などに挟まって誤操作の原因になる可能性があります。
- **運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。**  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- **夜間など視界の悪いところを走行する際は、使用前にテールライトの点灯が他者から見えることを確認してください。**  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **縁石、段差、勾配、溝などには、90°の角度で侵入し、低速でゆっくり走行してください。**  
転倒したり、身動きがとれなくなったり、本体が変形する可能性があります。
- **走行時、周囲の物や人がコントローラーに触れないよう注意してください。**  
衝突したり、転倒するおそれがあります。
- **使用者や周囲の人が、タイヤに触れることがないように走行してください。**  
怪我をするおそれがあります。
- **下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。**  
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **プラットフォームや側溝の近くを走行する際は、端から十分な距離をとって走行してください。**  
転落のおそれがあります。
- **ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをロックしてください。**  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

 **警告**

- **コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。**  
コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- **乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作するようにしてください。**  
製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人に介助を求めてください。
- **アームの回転部分やタイヤなどに絡まりやすい服などを身につけて操作することや、ケーブルや紐の上の走行は避けてください。**  
服やケーブル、紐などが巻き込まれて転倒したり、操作ができない状態になるおそれがあります。
- **走行中は必ずフットサポートを下げ、足はフットサポートの上に置いてください。**  
足が巻き込まれる可能性があります。
- **手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。**  
誤操作や転倒の可能性があります。
- **以下の場所は走行しないでください。**  
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - エスカレーターや階段
  - 5cm より高い段差
  - 10° 以上の勾配
  - 砂地や沼地などの柔らかい路面
  - 雪道や凍結した路面
- **水たまりなどを走行しないでください。**  
錆びたり、ショートする可能性があります。
- **手足や荷物を本体の外に出さないでください。**  
走行時にぶついたりして怪我をするおそれがあります。
- **荷物をけん引しないでください。**  
転倒するおそれがあります。
- **坂道にて、転倒防止バーが地面に接触している、または移動中に地面に接触した場合は、傾斜が本製品の仕様を超えた角度ですので、当該の坂道での利用は中止してください。**  
転倒防止バーが地面に接触した状態で本体を操作することは、非常に危険であり、本体の制御が不能となるおそれがあります。

## 注 意



- **アームがロックされていることを確認してから、操作を開始してください。**  
走行中にアームが動いて、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **以下の場合、本体が減速したり、一旦停止する可能性があります。**
  - バッテリー残量が少なくなったとき
  - 走行中にバッテリーの温度が著しく低下したとき
  - 低温時に坂道を高速で走行したとき
  - 満充電時に急な下り坂を走行したとき
  - 段差や上り坂を走行したとき
- **道路は歩道を走行してください。**  
本製品は、車道での使用を想定していません。車道を横断するときは、自動車のドライバーから見えているか確認し、十分注意して横断してください。



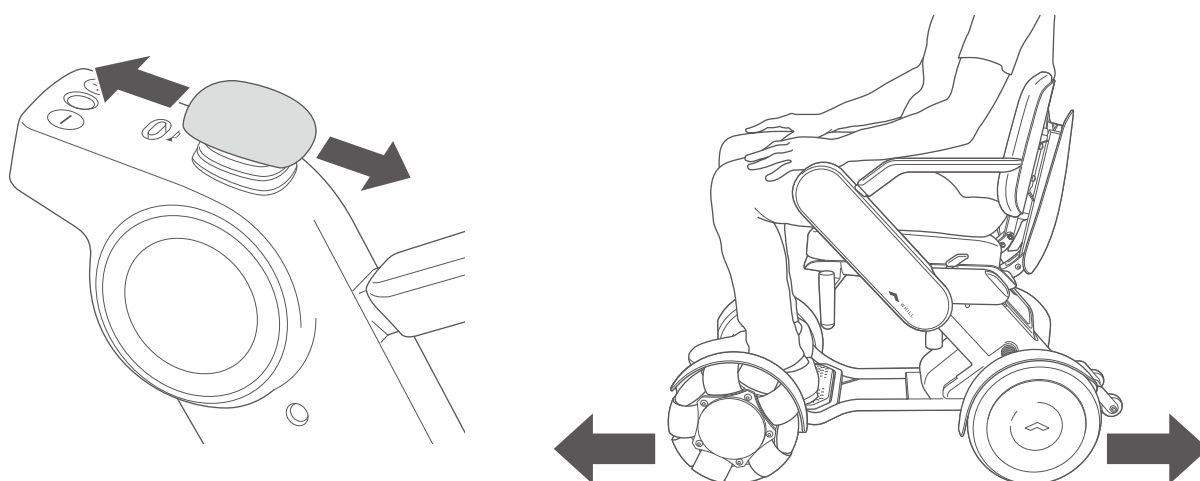
- **コントローラーの操作部の交換時以外は、操作部をねじらないでください。**  
操作部が緩んだり破損したりする可能性があります。
- **ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。**  
ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。



- 急な坂道を走行すると減速度合が変わることがあります。
- 室内で使用する場合、床材が傷んだり、汚れたりすることがありますのでご注意ください

### 4.5.1. 前後へ移動する

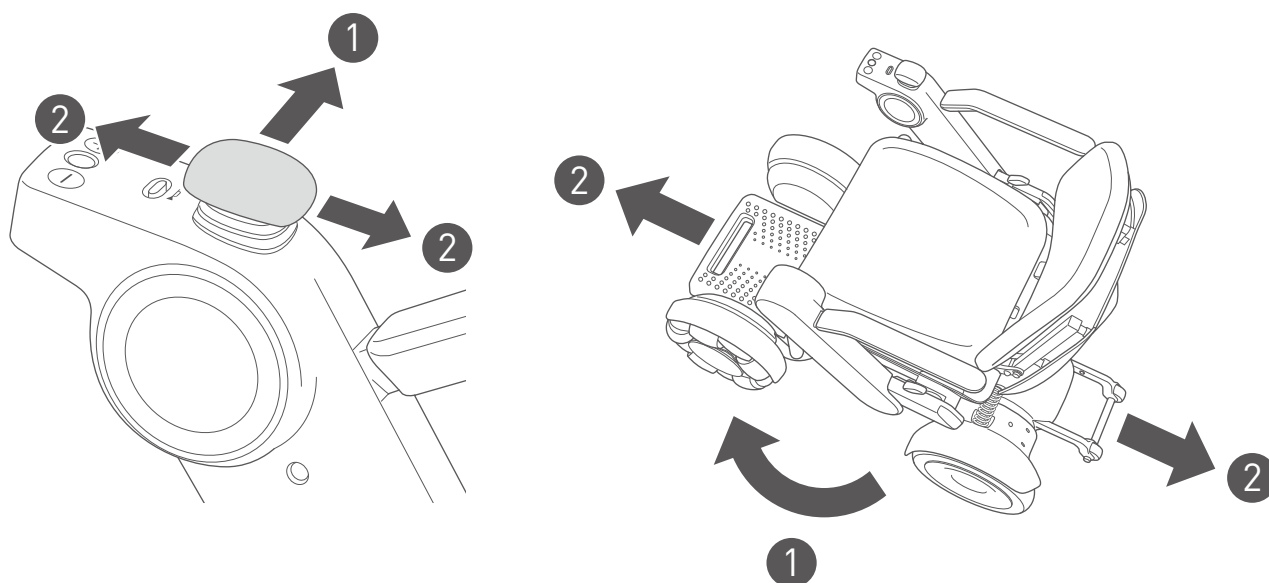
コントローラーの操作部を前に動かすと前進し、後ろに倒すと後進します。



4

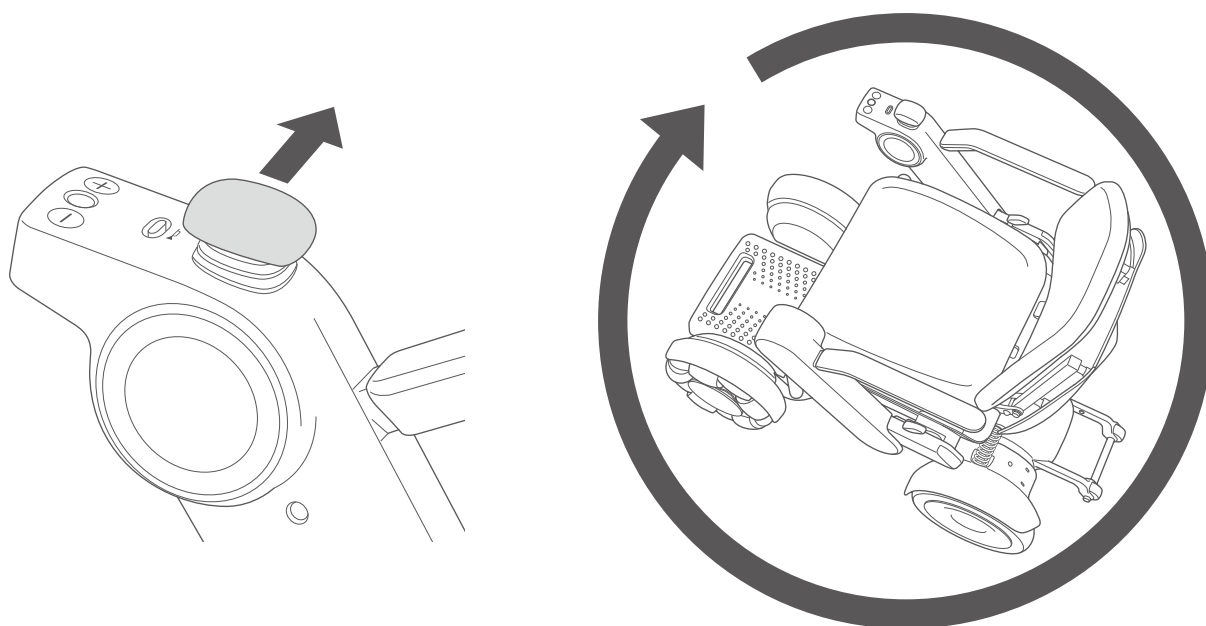
### 4.5.2. 斜め方向へ移動する

斜め方向へ移動する場合は、まず、本体を行きたい方向に向けます。その後、コントローラーの操作部をまっすぐ前後に動かし、斜め方向へ前後進します。



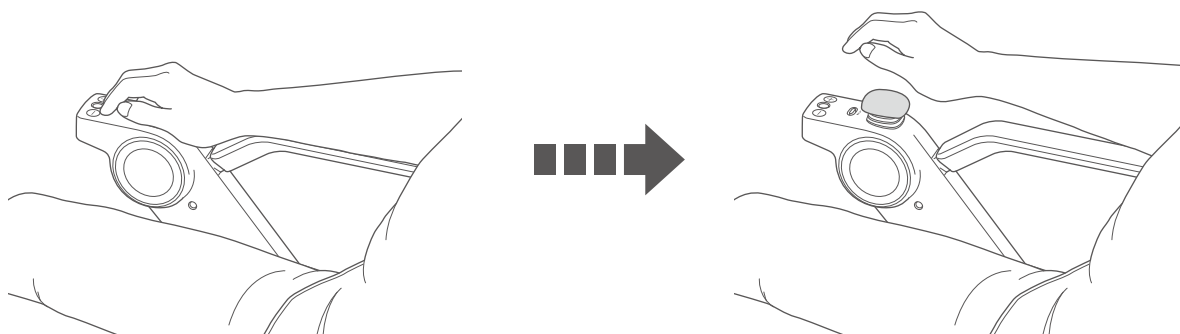
### 4.5.3. 回転する

その場で回転したい場合は、コントローラーの操作部を左右いずれかに動かし続けます。



### 4.5.4. 停止する

コントローラーの操作部から手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。

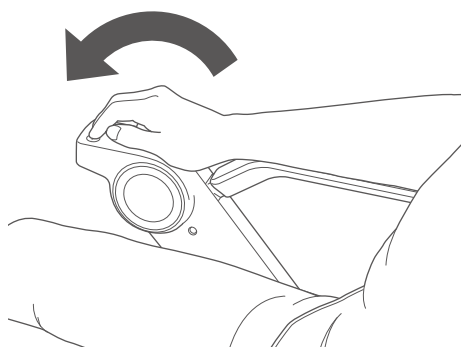


#### 4.5.5. 速度を調整する

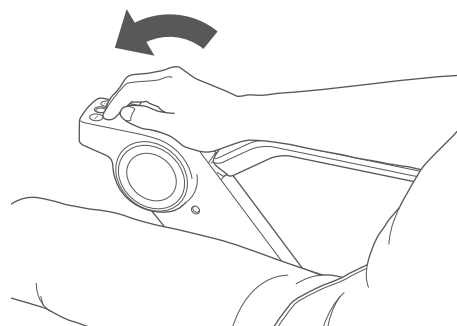
本体の速度は、コントローラーの操作部の傾きで調整することができます。

操作部の傾きを大きくすると本体の速度が上がり、小さくすると速度が下がります。

速度を連続的に調整できます。



高速 (傾き大)



低速 (傾き小)



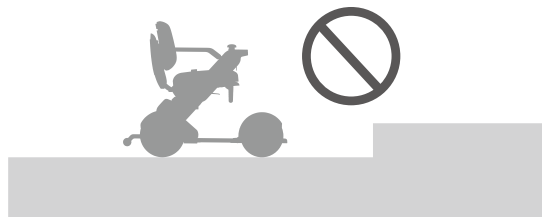
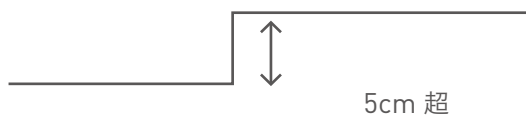
- 走行を始めるときは、コントローラーの操作部を必要なだけ押してゆっくり発進してください。
- 操作部を奥まで倒したときの最高速度は、速度調整ボタンで設定された速度によって異なります。最高速度の設定方法については、「4.4.2. 速度を調整する」(37 ページ) を参照してください。

#### 4.5.6. 路面状況ごとの運転

本製品は、多くの条件下で走行の安定性を提供しています。

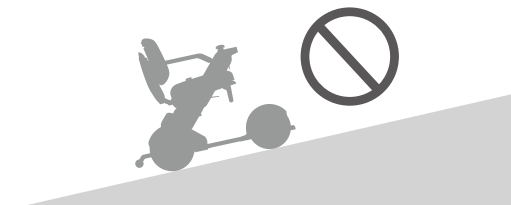
ただし、以下の路面状況では、走行できません。

- 5cm より高い段差

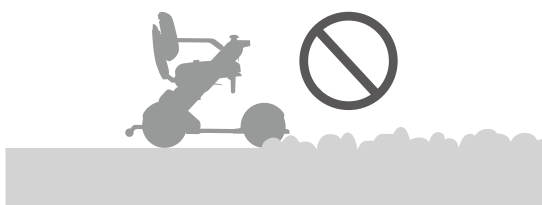


- 10° 以上の勾配

10° 以上



- 砂地や沼地などの柔らかい路面や、  
雪道や凍結した路面  
※砂利、軽い雪、草の上は走行可能



## 4.6. ブレーキを解除する

座面の下にあるブレーキ解除レバーを下げることで、ブレーキを解除して本体を手で押して移動できるようになります。

### ⚠ 警告



- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをロックしてください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

### ⚠ 注意



- ブレーキ解除後に本体を押して移動させるときは、手でゆっくりと押してください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動く可能性があります。また、8km/h 以上の速度で本体を押すと、バッテリーに負荷がかかり故障する可能性があります。

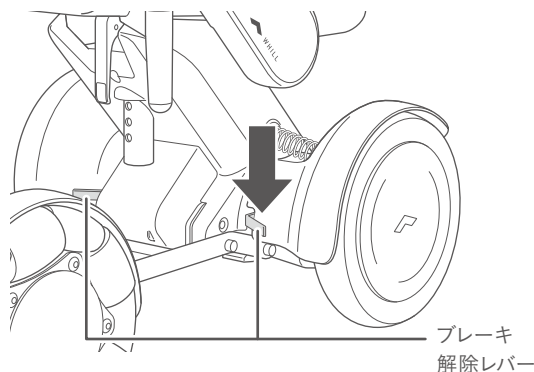


- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。  
ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。

4

### 4.6.1. 解除方法

1. 本体の電源を切ります。
2. シート下にあるブレーキ解除レバー（左右 2 カ所）を押し下げます。  
ブレーキが解除されます。ブレーキをロックするときは、ブレーキ解除レバーを上げてください。

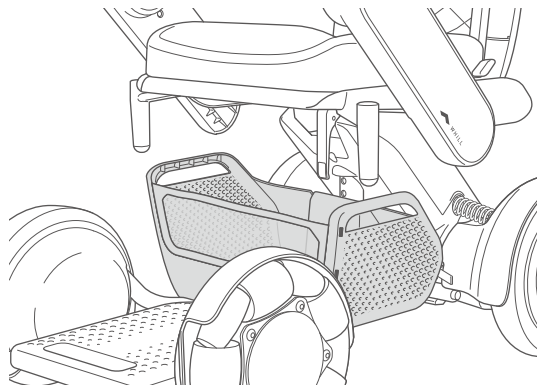


## 4.7. 荷物を持ち運ぶ

荷物を運搬する際は、変形や破損のおそれがあるためアームやアームレストに掛けず、荷物用バスケットを使用してください。

### ■ 荷物用バスケット

荷物は座面下の荷物用バスケットに収納してください。



### ⚠ 注意



● 以下に注意して、荷物用バスケットを使用してください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 荷物用バスケット内の側壁または側面の高さを超えないように、荷物を収納してください。
- 荷物の出し入れは、電源を切って、周囲の安全を確認して行ってください。
- 荷物を入れる時には、バッテリーにぶつからないようにご注意ください。



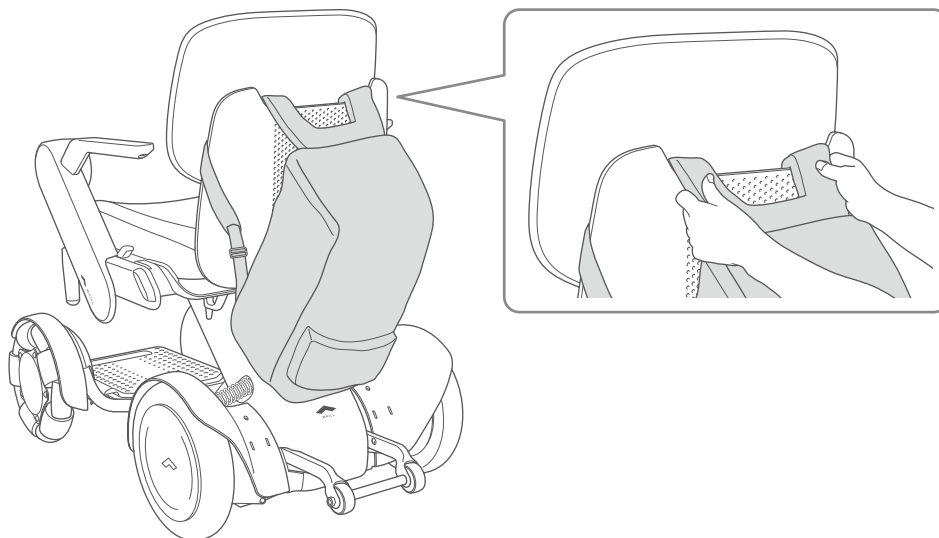
荷物用バスケットの最大積載量は 6kg です。耐荷重以上の荷物を収納すると、荷物用バスケットが破損する可能性があります。

## ■ バックサポート

バックサポートにリュックサックなどを掛ける場合は、バックサポートの突起に肩ベルトを掛けてください。



- バックサポートの耐荷重は 5kg です。
- リュックサックの肩ベルトをきちんと締め、バッテリーにぶついたり、紐部分を地面に引きずらないようにご注意ください。
- 夜間走行時は、テールライトが見えるように荷物を掛けてください。



## 4.8. 鍵をかける

スマートキーを使用して、本体に鍵をかけることができます。



- スマートキーの電池交換の方法については、「8.2. スマートキーの電池交換」（91 ページ）を参照してください。

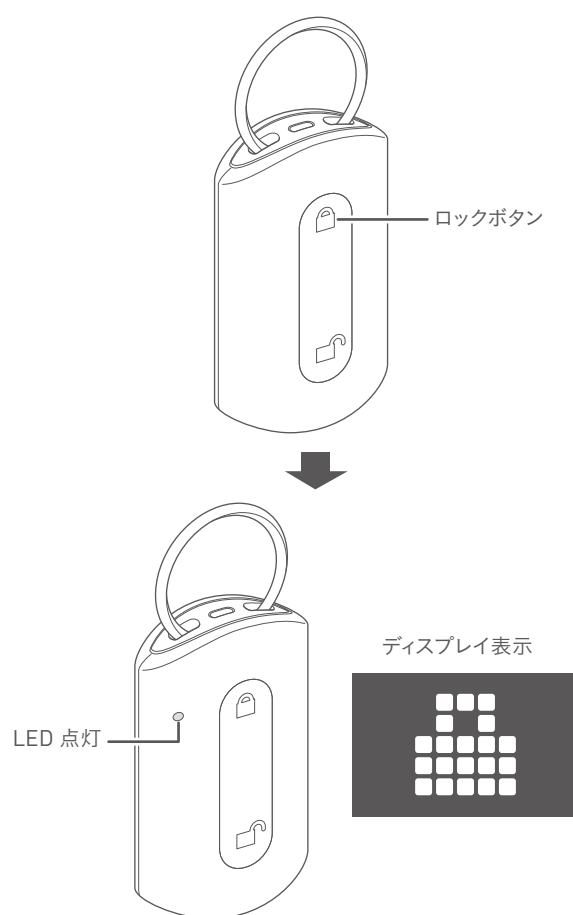
### 4.8.1. ロックする

#### 1. スマートキーのロックボタンを押します。

スマートキーの LED が点灯してディスプレイにロック状態を示すアイコンが表示され、ロック音が鳴って本体がロックされます。



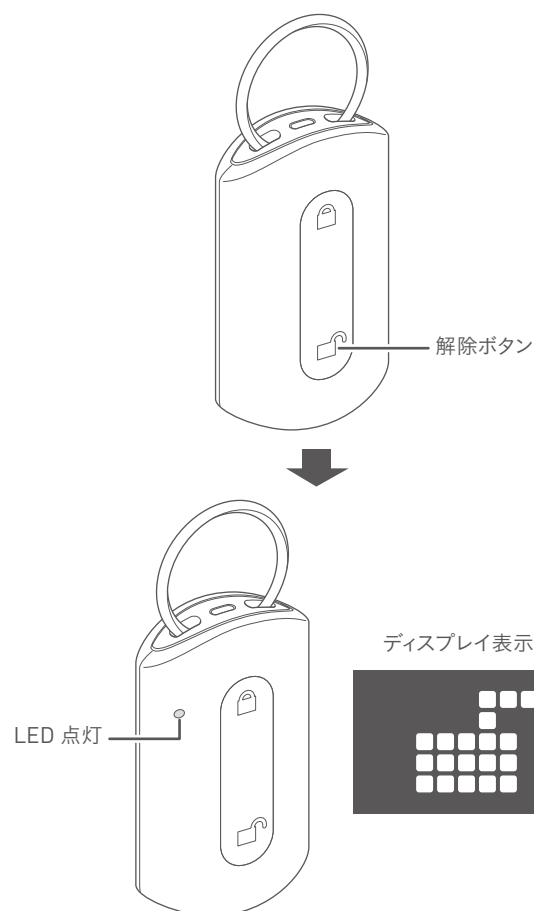
- ロックされた状態で本体の電源を入れようとすると、ロック状態を示すアイコンがディスプレイに表示された後に電源が切れて、起動できない状態となります。
- スマートキーは必ず携帯してください。スマートフォンのアプリでも本体の鍵を操作することはできますが、スマートフォンのバッテリーがなくなった場合に本体を操作できなくなるおそれがあります。



## 4.8.2. ロックを解除する

### 1. スマートキーの解除ボタンを押します。

スマートキーの LED が点灯してディスプレイにロックを解除するアイコンが表示され、ロック解除音が鳴って本体がロック解除されます。



## 5. 組立・調整・分解

ここでは、本体の組み立て・分解、および各部の調整方法を説明します。

組み立ては、本書で説明する順序で行ってください。

### 警告



- 人が乗車したままの製品を持ち上げないでください。本体を持ち上げる際は、必ず分解し、分解した部品を持ち上げる際は重量に注意してください。また、バッテリーが挿入されている時に、バッテリーの持ち手を持って機体を持ち上げないでください。  
体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。
- 組立・調整・分解は、バッテリーを取り外し、ブレーキをロックした状態で、平坦な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 調整・分解後は必ずすべての部品を元に戻してください。  
部品が不足していると、本体が損傷するおそれがあります。



- 組立・分解は必ず本書で説明されている手順通り行い、本書で説明されていない部位についての分解・調整・修理または改造は行わないでください。  
怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。
- 濡れた状態で組み立てを行わないでください。  
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

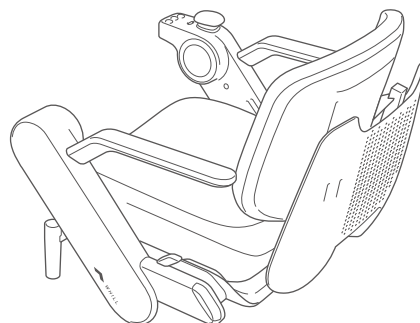


シートの高さ、バックサポートの高さや角度、アームの位置などを調整したい場合は、取扱店にお問い合わせください。  
トレーニングを受けたサービスマンが、安全に配慮したメンテナンスを行います。

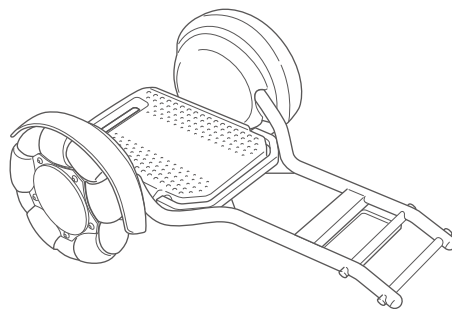
### 5.1. 部位の名称

本製品は、以下の5つの部位に分解することができます。

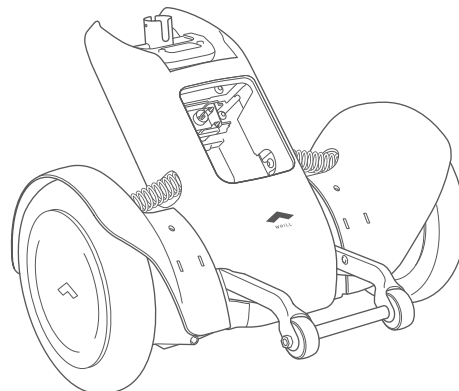
- シート



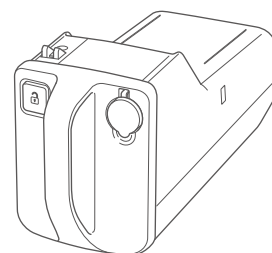
- ドライブベース



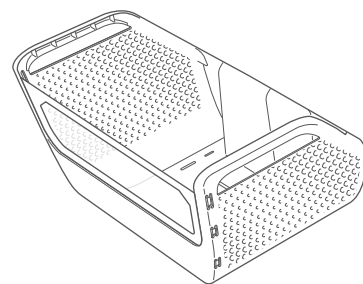
- メインボディ



- バッテリー



- 荷物用バスケット



## 5.2. 組立方法

本体の組み立てには、工具は必要ありません。本体を組み立てる際には、以下に十分に注意してください。

### ⚠ 警 告

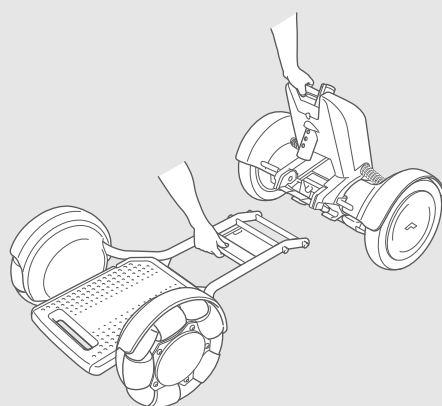


- 組み立ては、平坦で水平な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

### ⚠ 注 意



- 組み立ての際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。  
手を挟んで怪我をするおそれがあります。



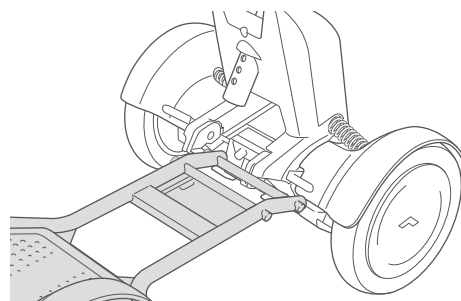
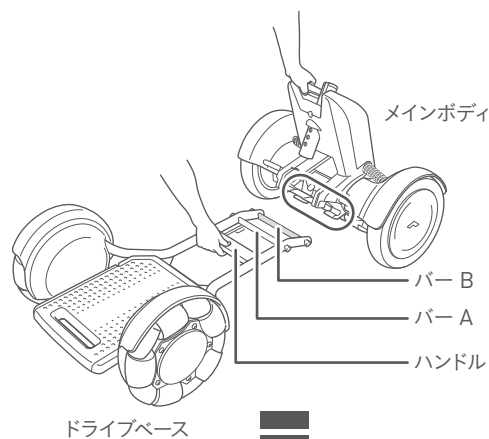
## 5.2.1. ドライブベースとメインボディの組み立て

1. メインボディを支えながらドライブベース中央部のハンドルを持ち、先端にあるバー B をメインボディのフックに合わせて置きます。

**警告**

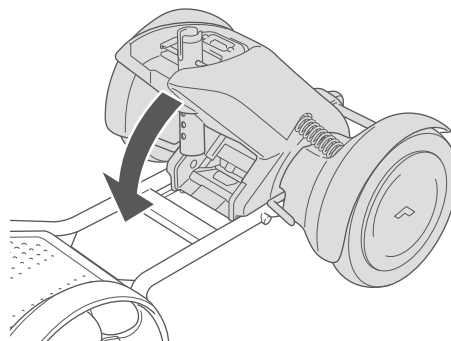
本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・分解・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



2. メインボディをゆっくり前方に倒し、ドライブベースとメインボディを連結します。

正しく連結されると、メインボディの分解ハンドルが、ドライブベースのバー A にはまりこみロックされます。

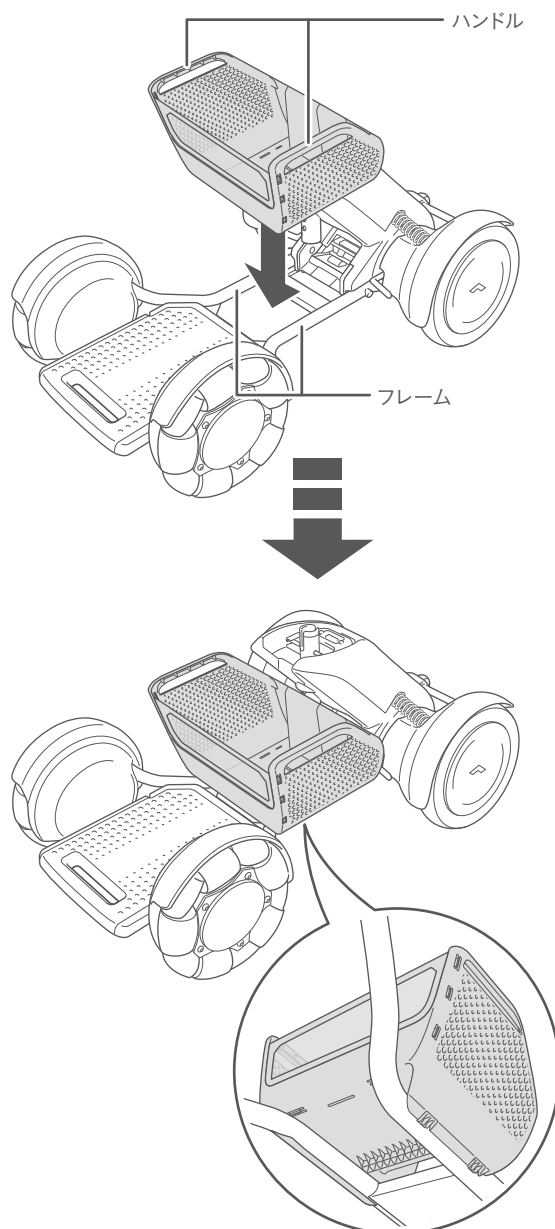


## 5.2.2. 荷物用バスケットの取り付け

1. 荷物用バスケット底面のフックをドライブベースのフレームに合わせてまっすぐ上から押し込みます。

バスケットの底面を内側からしっかり押して、カチッとはまるまで押し込んでください。

荷物用バスケットを使用されない場合、この手順を実施する必要はありません。



## 5.2.3. シートの組み立て

 警告

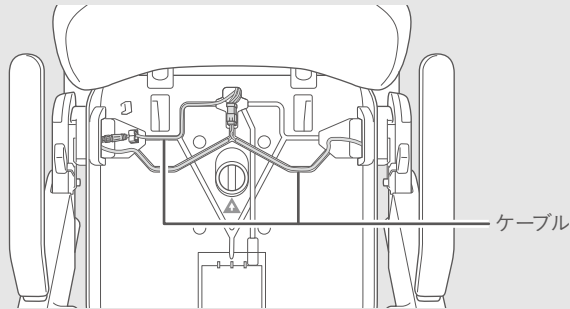
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。



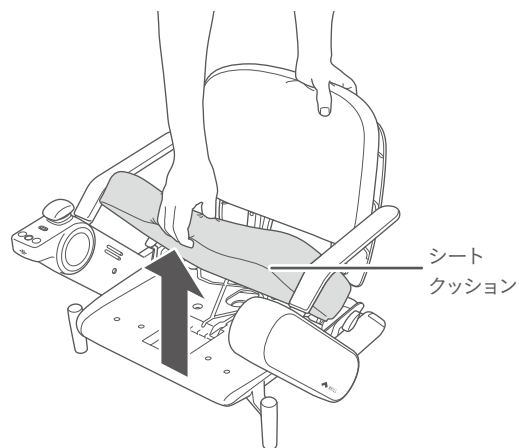
- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

 注意

- ケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。



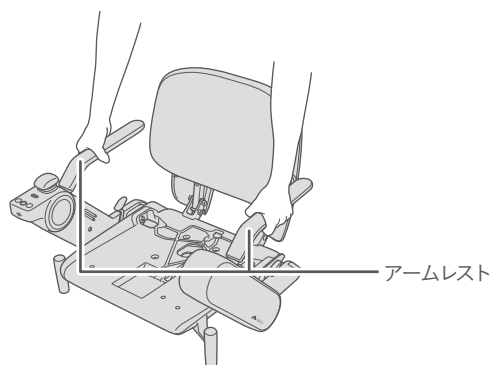
1. シートクッションをシートから取り外します。



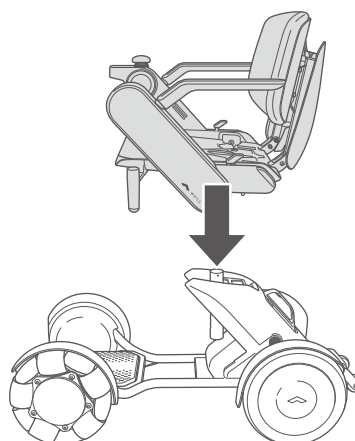
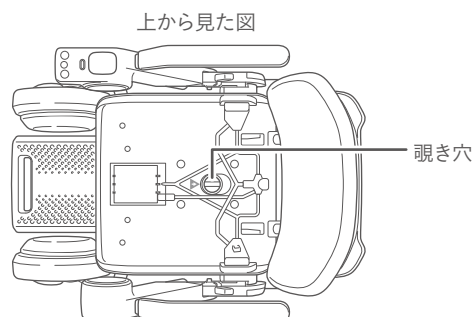
2. アームレストを持ってシートを持ち上げます。



持ち上げる前に両側のアームがロックされていることを確認してください。

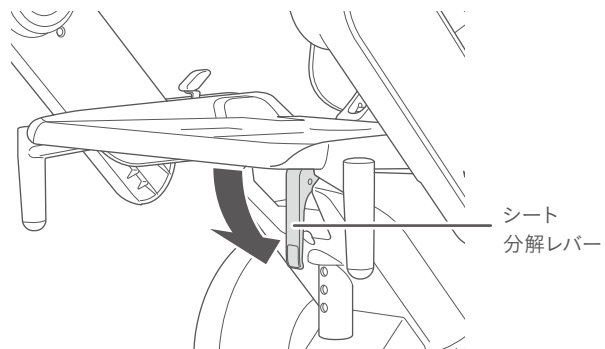


3. 座面の覗き穴からシート調整ポストの位置を確認しながら、まっすぐにシートをはめ込みます。

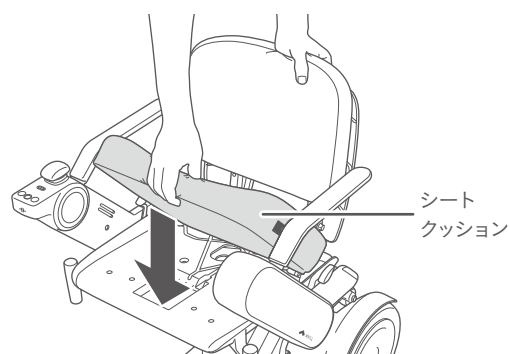


4. シート分解レバーがシートに垂直になるように下げます。

シートがシート調整ポストに固定されます。



5. シートクッションをロゴが左側側面にくるように、シートに取り付けます。



## 5.2.4. バッテリーの取り付け

### ⚠ 警 告



- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。



充電されたバッテリーを装着し、電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10 秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。

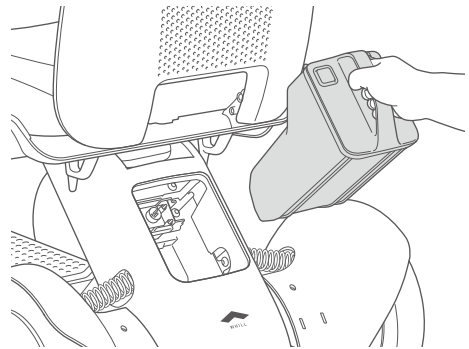
数回バッテリーの取り外し／取り付けを行っても使用できない場合は故障が考えられるため、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

## 5

1. ロック解除ボタンが押されていないことを確認してください。
2. バッテリーの取っ手を持って、バッテリー取り付け部に差し込みます。

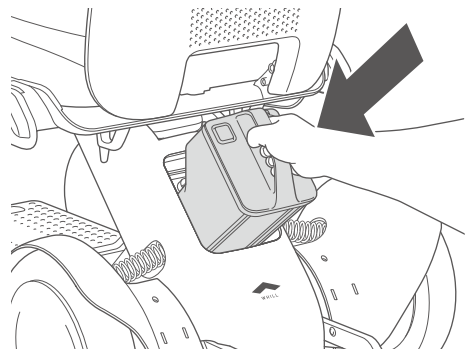


バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないように注意して取り扱ってください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。



3. バッテリーをまっすぐ入れ、カチッとハマるまで差し込んでください。挿入ににくいときは、手前から勢いを付けて押し込んでください。

バッテリー挿入時に違和感を感じた場合は、バッテリーコネクタ部分にキャップがついている可能性や、異物が侵入しているおそれがあります。ライトで照らすなどして、それらの有無をお確かめください。異物があった場合は、小さなブラシなどを用いて取り除いてください。



## 5.3. 調整方法

本製品は、使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- **アームの長さ**：「5.3.1. アームの長さ調整」（60 ページ）
- **コントローラーの左右交換**：「5.3.2. コントローラーの左右位置変更」（62 ページ）
- **シートの高さ**：「5.3.3. シートの高さ調整」（69 ページ）
- **バックサポートの高さ**：「5.3.4. バックサポートの高さ調整」（72 ページ）
- **バックサポートの角度**：「5.3.5. バックサポートの角度調整」（74 ページ）

アームの長さ、シートの高さ、バックサポートの高さや角度の調整には、工具が必要です。指定の工具を使用してください。

### 警 告



- **調整は、バッテリーを取り外し、ブレーキをロックした状態で、平坦な場所で行ってください。**  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- **コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。**  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

5

### 注 意



- **調整の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。**  
手を挟んで怪我をするおそれがあります。
- **安全に使用するために、以下に注意して調整してください。**  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - 必ず体に合うように調整してからご使用ください。
  - 調整時のネジの締め忘れに気をつけてください。
  - 調整を行う際は必ず本体から降りてください。
  - 調整を行う前に、必ず本体からバッテリーを外してください。
  - 取り外したコントローラーは振らないでください。
  - 部品を強い力で押さないでください。

### 5.3.1. アームの長さ調整

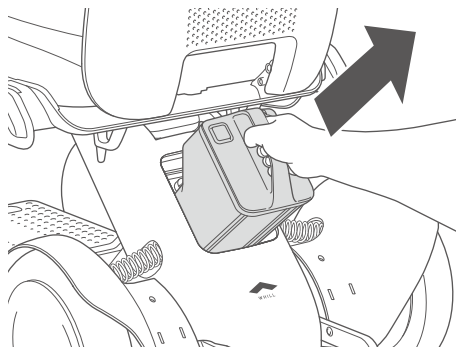
#### ⚠ 注 意



- アームの長さ調整などでアームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。

#### 1. バッテリーを取り外します。

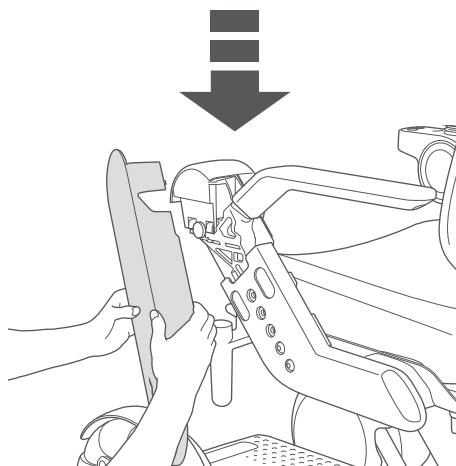
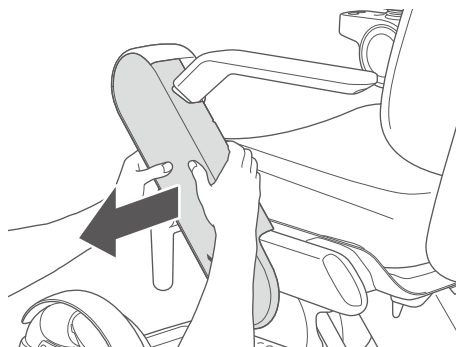
取り外し方法については、「5.4.1. バッテリーの取り外し」  
(78 ページ) を参照してください。



5

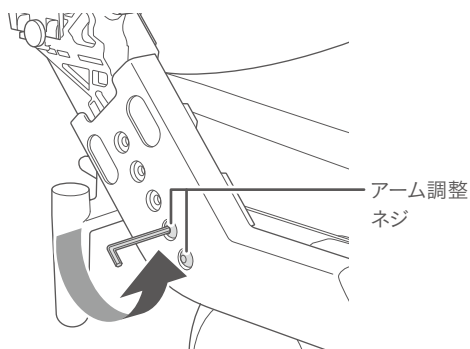
#### 2. アームカバーを取り外します。

アームカバーの両端に指を掛けて、広げながら手前に引いて取り外してください。



#### 3. 指定の工具を使用して、アーム調整ネジ（2 本）を外します。

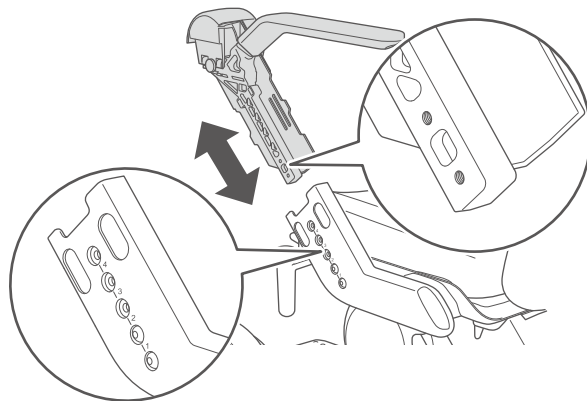
工具：六角レンチ #5



## 4. アームをお好みの長さに調節します。

本体側の穴とアームの穴（それぞれ 2 カ所）が合うように調節します。

アームの長さは 4 段階に調節可能です。

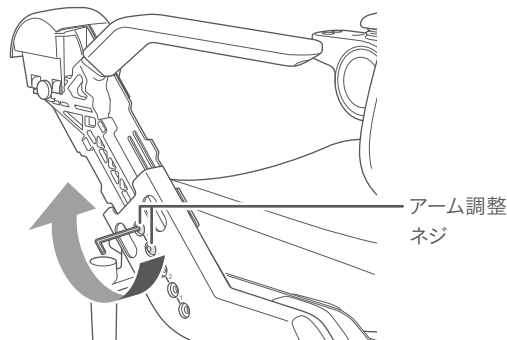


## 5. 指定の工具を使用して、手順 3 で外したアーム調整ネジ（2 本）を取り付け、アームを固定します。

アームを適切な長さに設定し、指定の工具を利用してネジをしっかりと締め付けます。ネジが緩んだ場合には締めなおしてください。

工具：六角レンチ（または六角トルクレンチ）#5

締め付けトルク：10 Nm



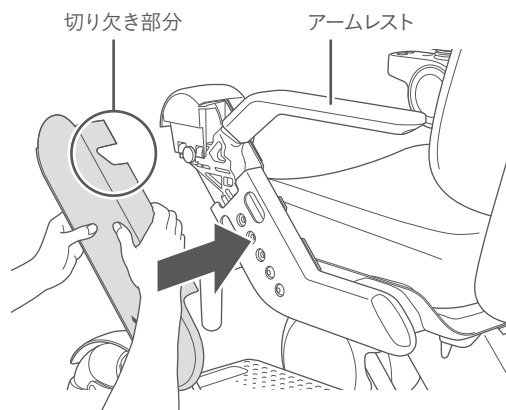
- 調整が終了したらアームを上下に動かし、アームが固定されていることを確認してください。
- ケーブルには触らないでください。

## 6. アームカバーを取り付けます。

アームカバーの裏側中央のツメがアームレストにはまるように合わせて、アームカバーの両端に指を掛けて広げながら、切り欠き部分を合わせてはめ込みます。



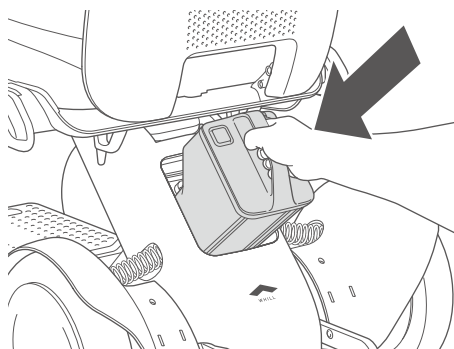
ケーブルを挟み込まないように注意してください。



## 7. 同様に、反対側のアームの長さを調整します。

## 8. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「5.2.4. バッテリーの取り付け」（58 ページ）を参照してください。



### 5.3.2. コントローラーの左右位置変更

コントローラーは、左右どちらにでも付けることが可能です。

#### ⚠ 注 意

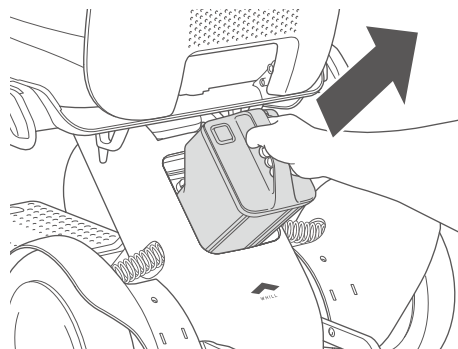


- コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。また、コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。  
コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- 取り外したコントローラーを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。  
スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- ディスプレイを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。  
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。
- コントローラーは分解しないでください。  
コントローラーが故障する原因となります。

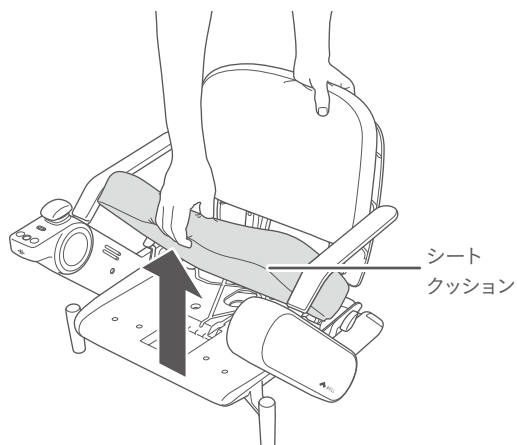
## 5

#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「5.4.1. バッテリーの取り外し」(78 ページ)を参照してください。



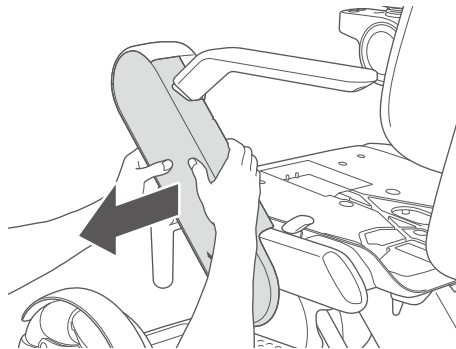
#### 2. シートクッションをシートから取り外します。



## 3. 両側のアームカバーを取り外します。

取り外し方法については、「5.3.1. アームの長さ調整」(60 ページ) の手順 2 を参照してください。

以降の手順では、右側アームについているコントローラーを左側に付け替える例を紹介します。

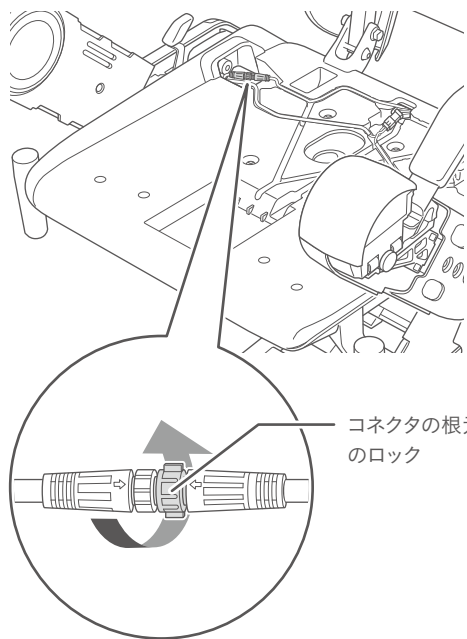


## 4. ケーブルのコネクタを外します。

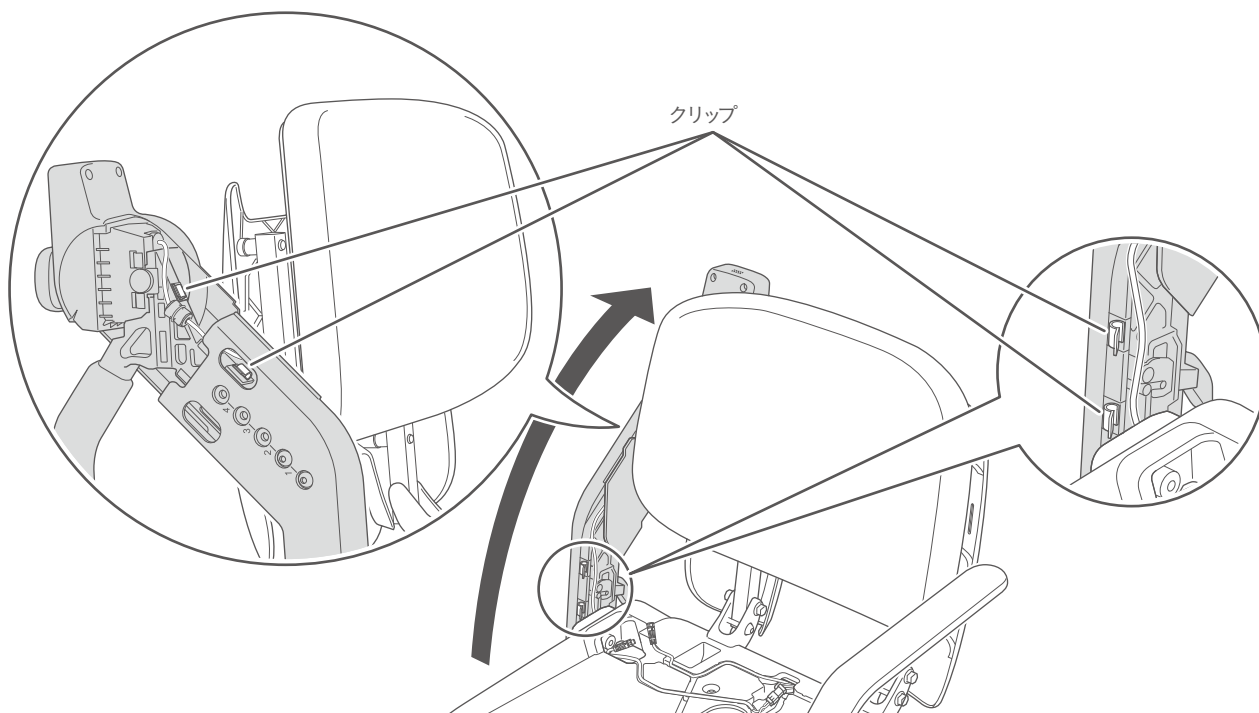
座面の右側後方のケーブル通し穴の上のくぼみにしまわれているコネクタの根元のロックを反時計回りに回して緩め、コネクタを外します。



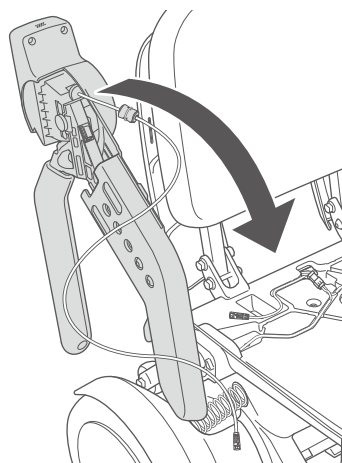
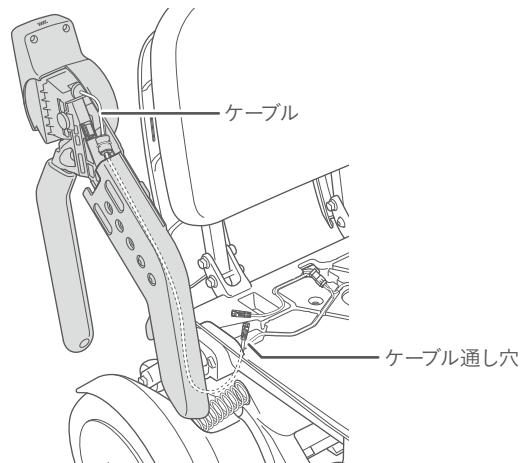
- コネクタを外す際は、コネクタの根元のロックを回してください。それ以外は回さないでください。
- コネクタを外す際は、強く引っ張らないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。



## 5. アームを上げ、ケーブルをケーブル固定クリップから外します (4 カ所)。



6. ケーブルを座面のケーブル通し穴、アームから抜き取り、アームを下げます。

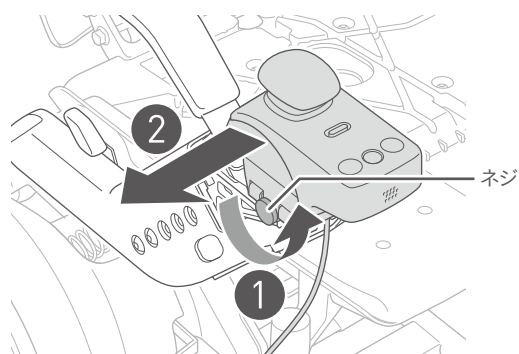


7. コントローラーを取り外します。

- ① コントローラー外側のネジを手で回して外します。
- ② コントローラーを外側へずらして取り外します。

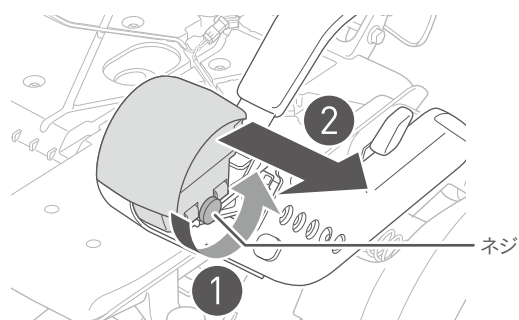


アームからコントローラーを取り外す際は、クリップからケーブルが外れていることを確認してから作業してください。コントローラーを強く引っ張らないでください。コントローラーに接続されているケーブルが断線するおそれがあります。



8. コントローラーが付いていない側のアームの先端部分を取り外します。

- ① アームの先端部分外側のネジを手で回して外します。
- ② アームの先端部分を外側へずらして取り外します。

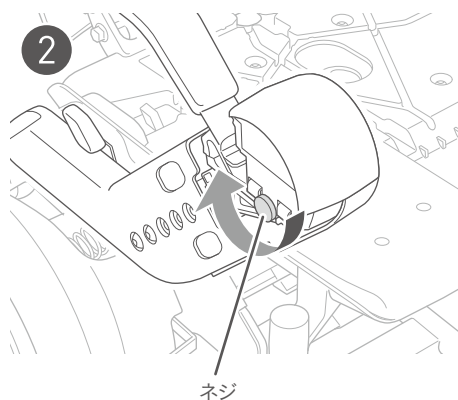
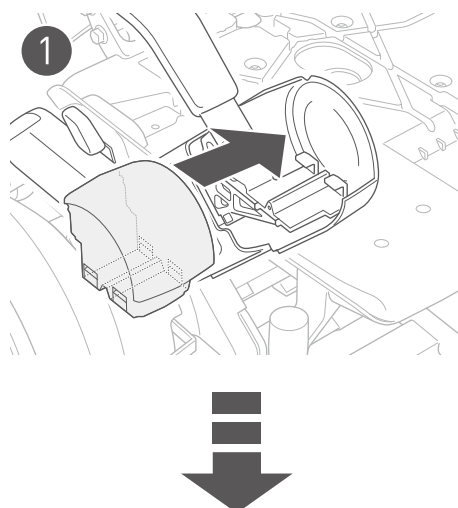


9. 手順 8 で外したアームの先端部分を反対側のアームに取り付けます。

- ① アームの先端部分の凹部を、アームの凸部に合わせて差し込みます。
- ② 手順 8 で外したネジを手でしっかり締めて、先端部分を固定します。



アームの先端部分を上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。

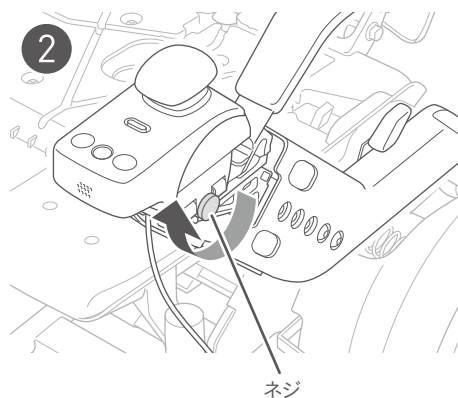
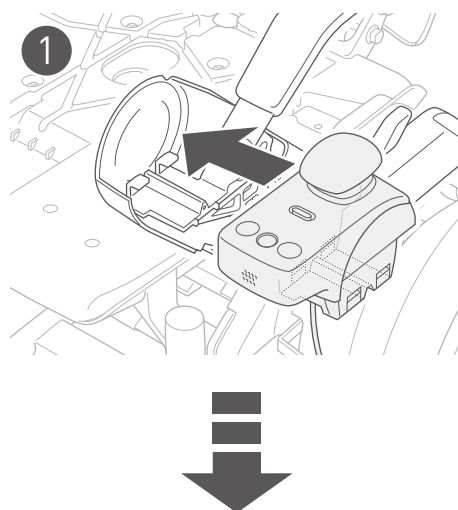


10. 手順 7 で外したコントローラーを反対側のアームに取り付けます。

- ① コントローラーの凹部を、アームの凸部に合わせて差し込みます。
- ② 手順 7 で外したネジを手でしっかり締めて、コントローラーを固定します。

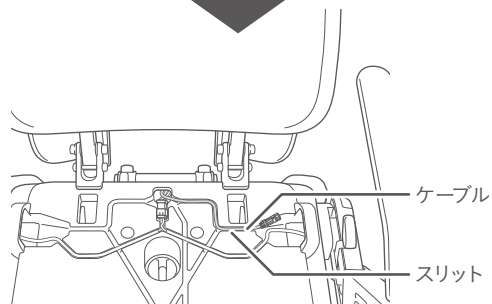
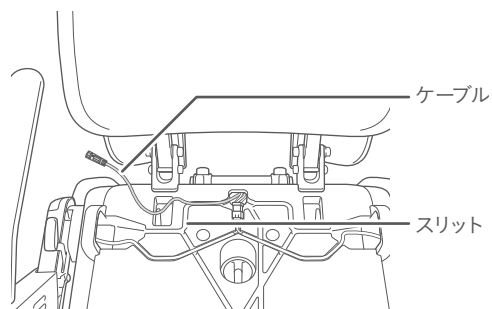


コントローラーを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。



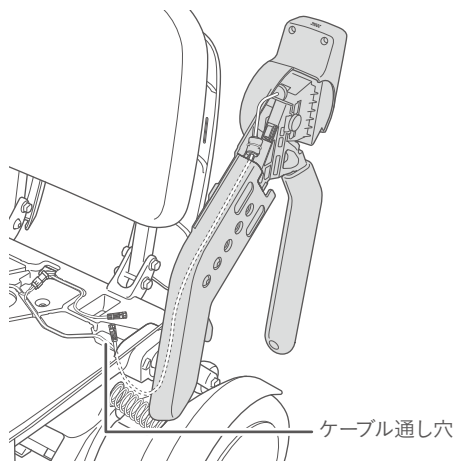
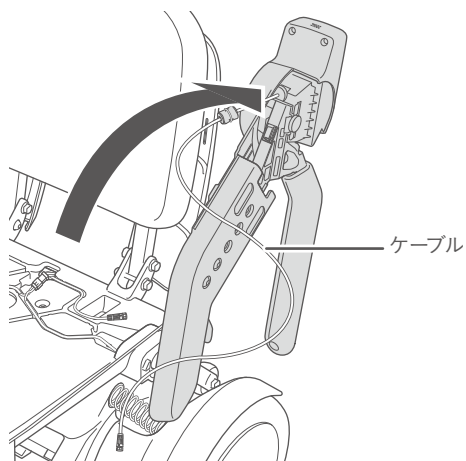
11. 座面のスリットにはまっているケーブルを外し、反対側のスリットにはめます。

ケーブルのコネクタ部分が、反対側のケーブル通し穴の上のくぼみに位置するように置いてください。

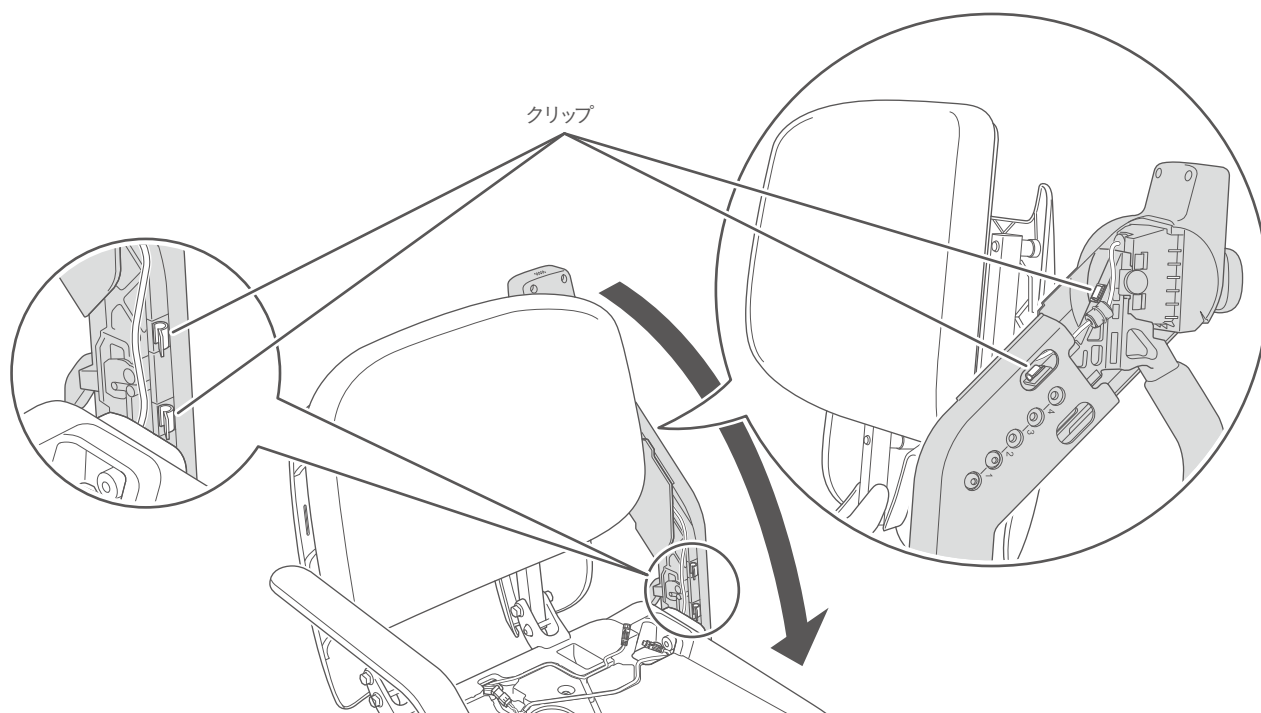


5

12. コントローラーを取り付けたアームを上げ、ケーブルをアーム、次に座面のケーブル通し穴に下から通します。



13. ケーブルをケーブル固定クリップに固定し（4カ所）、アームを下げます。

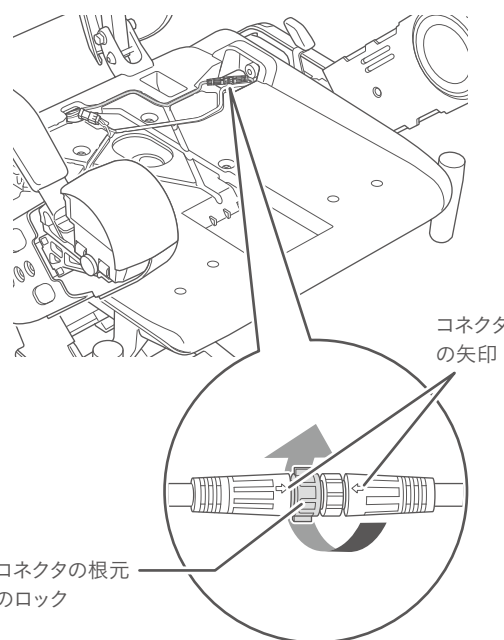


14. ケーブルのコネクタをはめます。

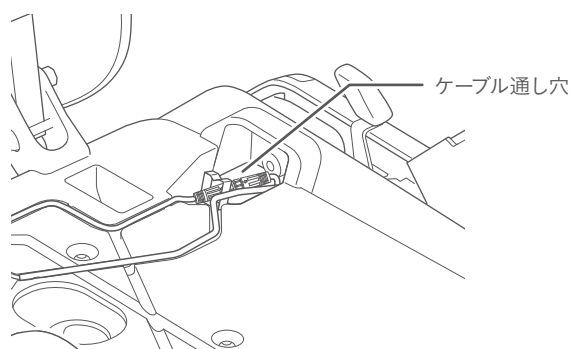
コネクタの矢印を合わせて差し込み、コネクタの根元のロックを時計回りに回して固定します。



コネクタをはめる際は、コネクタの根元のロックを回してください。それ以外は回さないでください。

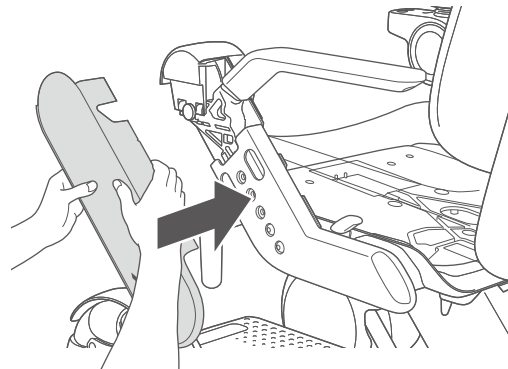


15. コネクタ部分をケーブル通し穴にまとめます。

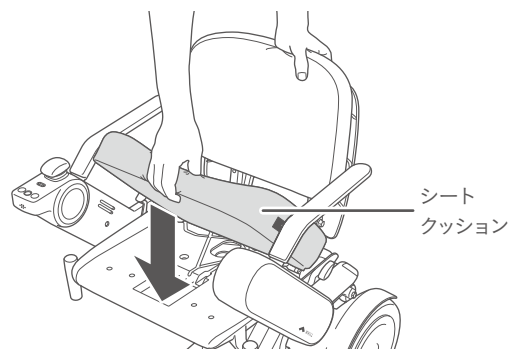


## 16. アームカバーを取り付けます。

取り付け方法については、「5.3.1. アームの長さ調整」(60 ページ) の手順 6 を参照してください。

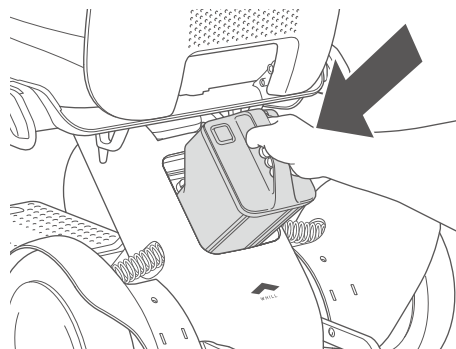


## 17. シートクッションを取り付けます。



## 18. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「5.2.4. バッテリーの取り付け」(58 ページ) を参照してください。



## 19. 電源を入れて、本体が前後左右に問題なく動くことを確認します。



ディスプレイにエラー表示が出る場合は、「9. トラブルシューティング」(96 ページ) をご確認ください。それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

## 5.3.3. シートの高さ調整

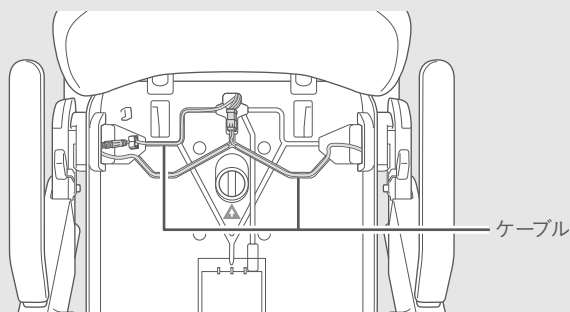
## 警告



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。



- ケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。



5

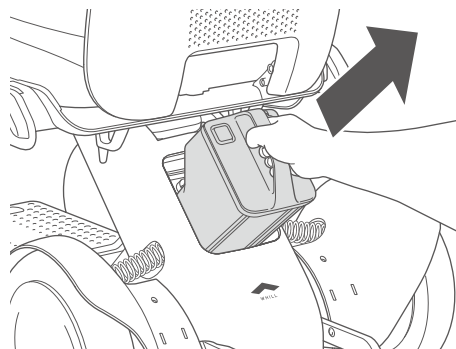
## 注意



- シートの高さ調整の際は、シート調整ポストを強く引っ張らないでください。シート調整ポストの中にケーブルが入っています。シート調整ポストを強く引っ張ると、中のケーブルが断線するおそれがあります。

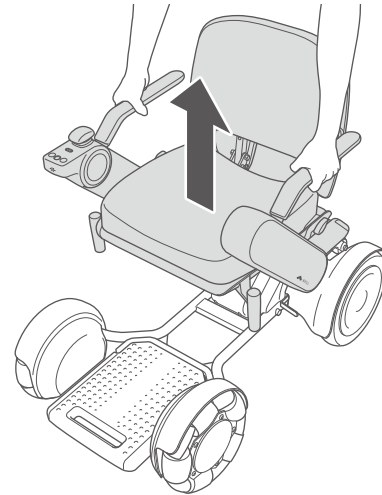
## 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「5.4.1. バッテリーの取り外し」(78 ページ) を参照してください。



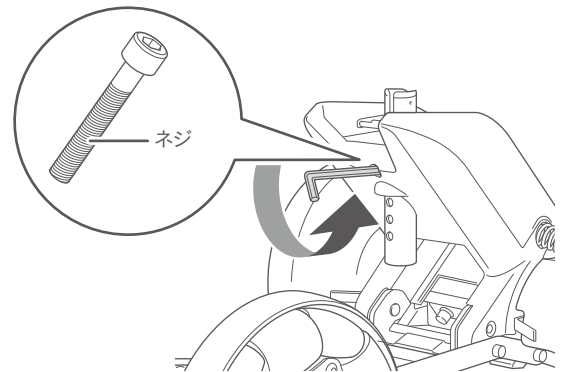
## 2. シートを取り外します。

取り外し方法については、「5.4.2. シートの取り外し」（79 ページ）を参照してください。



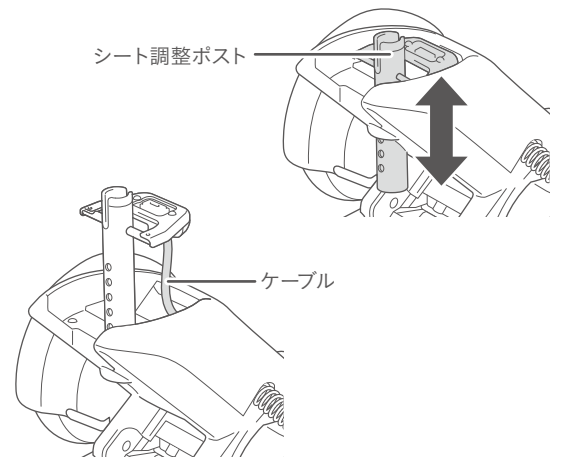
## 3. 指定の工具を使用して、シート調整ポストのネジを取り外します。

工具：六角レンチ #8



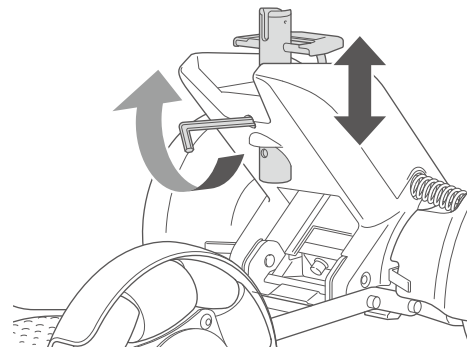
## 4. シート調整ポストを上下させて、調節したい高さの穴に合わせます。

シートの高さは、5 段階で調整可能です。  
調整の際にはシート調整ポストを強く引っ張らないでください。



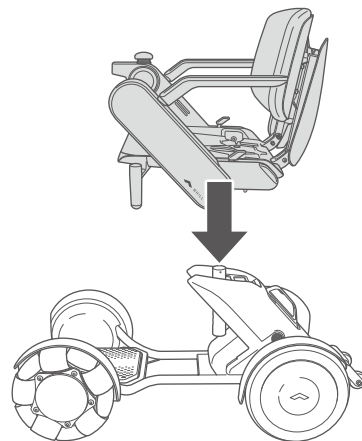
## 5. 手順 3 で外したネジを希望の高さの穴位置に差し込み、指定の工具を使ってしっかり締め付けます。

ネジが緩んだ場合は締めなおしてください。  
工具：六角レンチ（または六角トルクレンチ）#8  
締め付けトルク：25 Nm



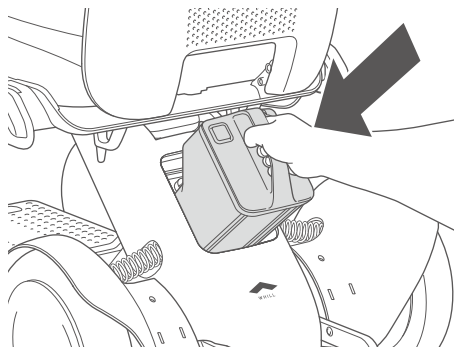
## 6. シートを取り付けます。

取り付け方法については、「5.2.3. シートの組み立て」(55 ページ) を参照してください。



## 7. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「5.2.4. バッテリーの取り付け」(58 ページ) を参照してください。



### 5.3.4. バックサポートの高さ調整

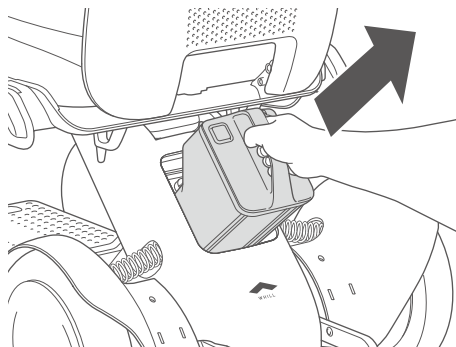
#### ⚠ 注 意



- バックサポートの高さ調整などでバックサポートを上下に動かす際は、バックサポートの下部や接続部に指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。

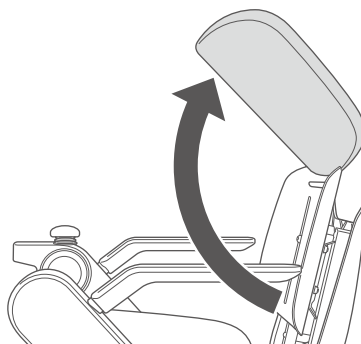
#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「5.4.1. バッテリーの取り外し」  
(78 ページ) を参照してください。



#### 2. バックサポートクッションを外します。

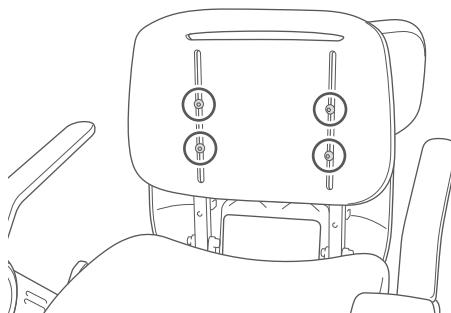
面ファスナーを外して、バックサポートクッションを後ろに倒します。



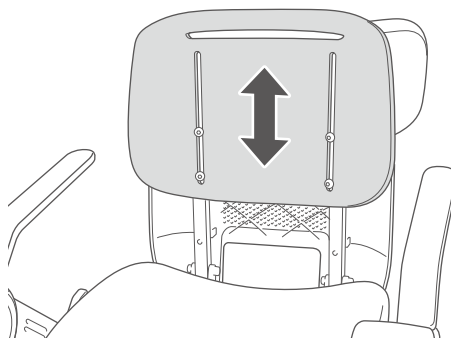
#### 3. 指定の工具を使用して、4つのネジを緩めます。

工具：六角レンチ #5

ネジを完全に取り外す必要はありません。



#### 4. バックサポートを上下に動かして調節します。

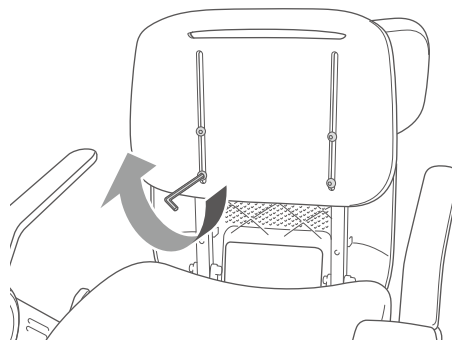


## 5. 希望の高さの位置で、緩めたネジを締め付けます。

指定の工具を使ってネジをしっかり締めつけてください。ネジが緩んだ場合は締めなおしてください。

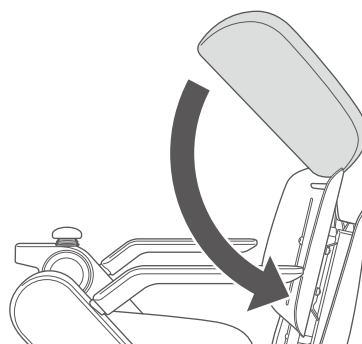
工具：六角レンチ（または六角トルクレンチ）#5

締め付けトルク：5 Nm



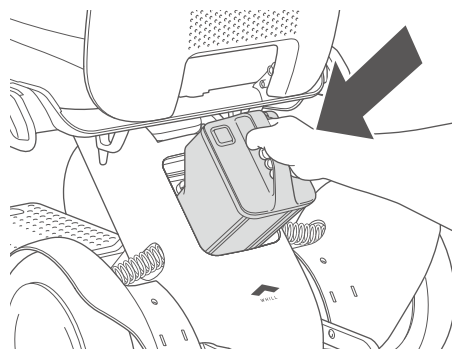
## 6. バックサポートクッションを取り付けます。

バックサポートクッションを元の位置に戻し、面ファスナーで留めてください。



## 7. バッテリーを取り付けます。

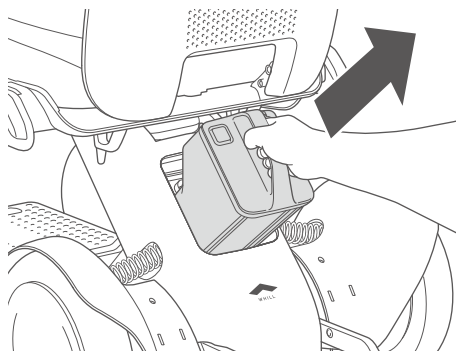
取り付け方法については、「5.2.4. バッテリーの取り付け」（58 ページ）を参照してください。



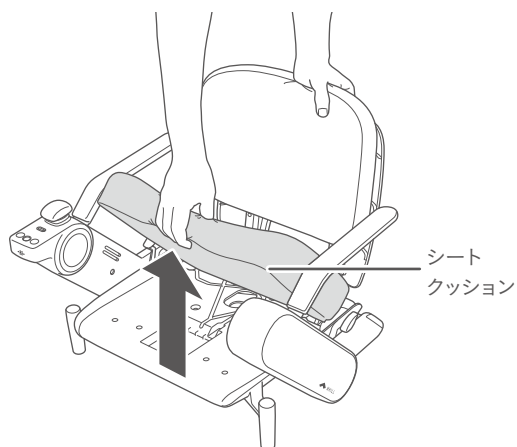
### 5.3.5. バックサポートの角度調整

#### 1. バッテリーを取り外します。

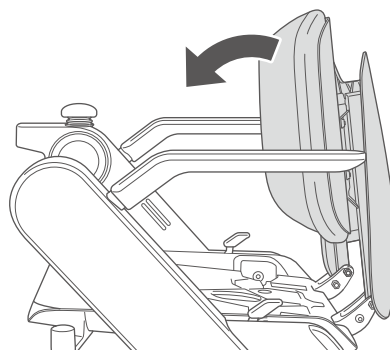
取り外し方法については、「5.4.1. バッテリーの取り外し」  
(78 ページ) を参照してください。



#### 2. シートクッションを取り外します。



#### 3. バックサポートを少し前に倒します。



#### 4. 指定の工具を使用して、角度調節ネジ（2本）を外します。

工具（ネジ）：六角レンチ #5

工具（ナット）：レンチ #10

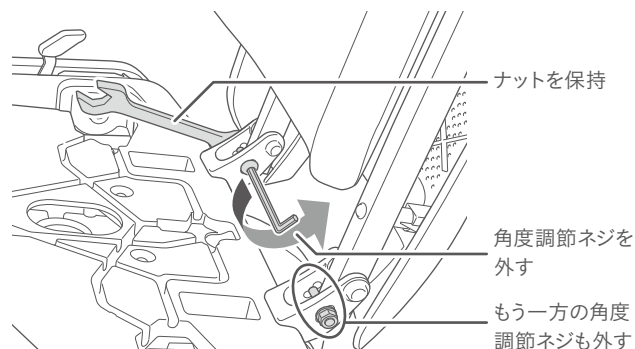
ナットを工具で保持しながら角度調節ネジを外します。



**警告**

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・分解・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。

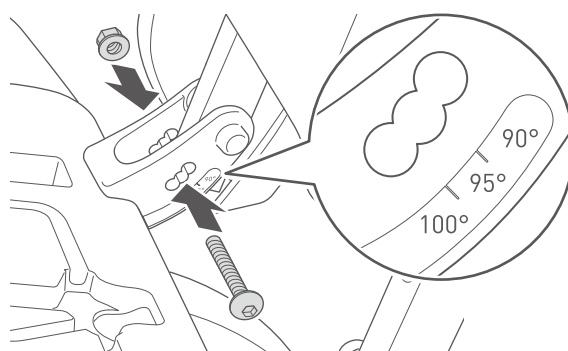


#### 5. 角度調節ネジ（2本）を、お好みの穴に差し込みます。

バックサポートは、3段階（90度、95度、100度）で調整できます。



左右を同じ角度にしてください。



5

#### 6. 角度調節ネジ（2本）を締めて固定します。

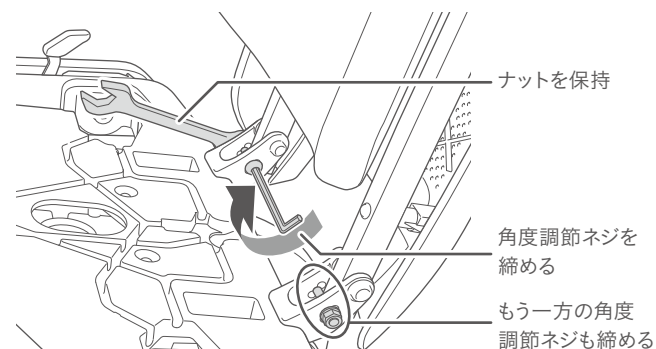
バックサポートを適切な角度に設定し、指定の工具を利用してネジをしっかり締めつけます。ネジが緩んだ場合は締めなおしてください。

工具（ネジ）：六角レンチ（または六角トルクレンチ）#5

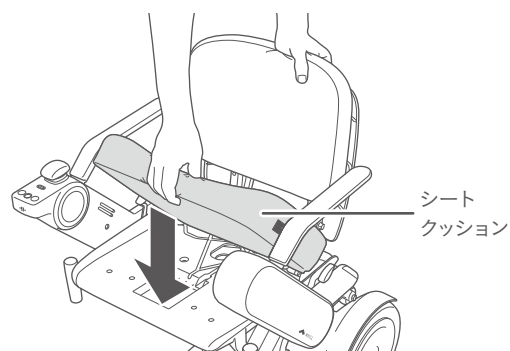
工具（ナット）：レンチ #10

締付けトルク：5 Nm

ナットを工具で保持しながら角度調節ネジを締めます。

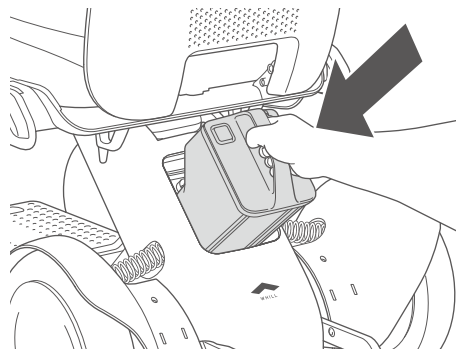


#### 7. シートクッションを取り付けます。



## 8. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「5.2.4. バッテリーの取り付け」  
(58 ページ) を参照してください。



## 5.4. 分解方法

本体の分解には、工具は必要ありません。本体を分解する際には、以下に十分に注意してください。

分解した部位を運搬する方法については、「6.2. 運搬」（85 ページ）を参照してください。

### ⚠ 警告



- 分解は、バッテリーを取り外し、ブレーキをロックした状態で、平坦な場所で行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。

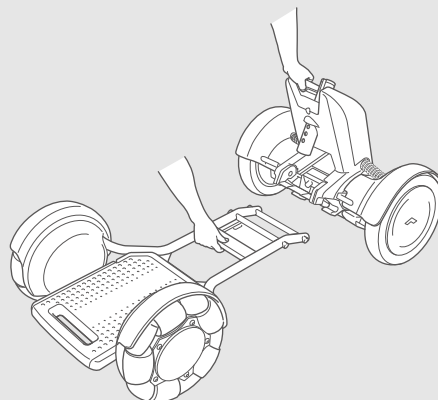


- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

### ⚠ 注意

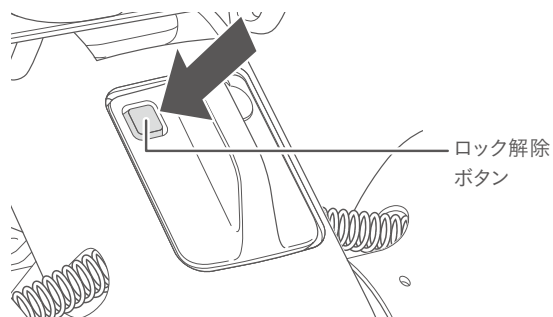


- 分解の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。手を挟んで怪我をするおそれがあります。

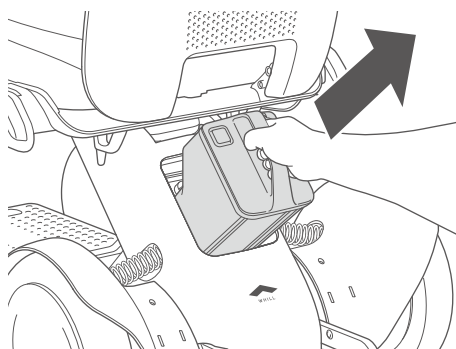


### 5.4.1. バッテリーの取り外し

1. 本体の電源が切れていることを確認します。
2. バッテリーのロック解除ボタンを押します。



3. 取っ手を持って手前に引き、バッテリーを取り外します。



5



バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないように注意して取り外してください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

## 5.4.2. シートの取り外し

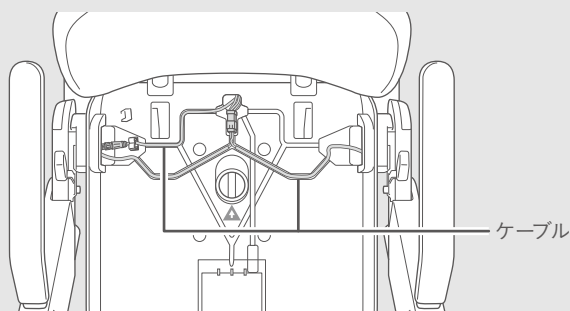
## 警告



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。



- コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。  
コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- ケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。  
ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。

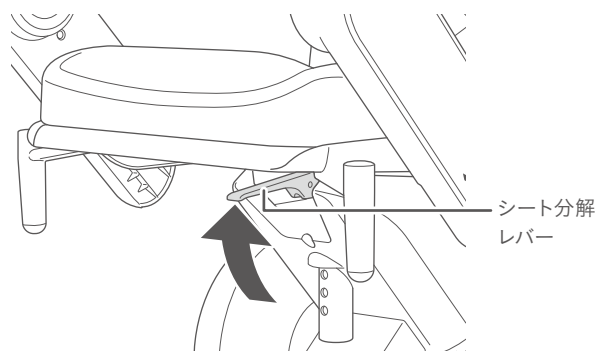


1. シート前面下部のシート分解レバーを手前に引き上げます。

ロックが外れます。



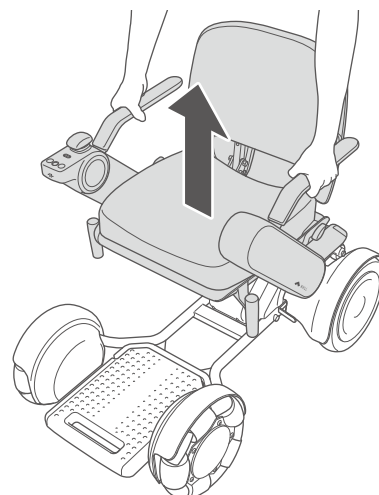
フットサポートに膝をつくなどして体重を掛けると、本体が転倒するおそれがありますので注意してください。



2. アームレストを持ち、シートを真上に持ち上げてメインボディから取り外します。



シートを持ち上げる際は部品をぶつけないように、ゆっくりとまっすぐに持ち上げてください。



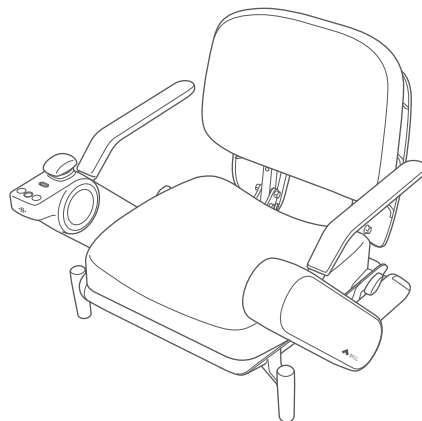
3. 取り外したシートは、座面を上にして床に置きます。



**警告**

取り外したシートを上下逆に置いたりすると、コントローラーが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。

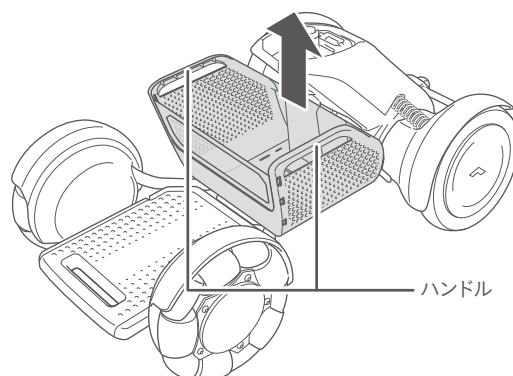
シートを床に置くときはクッション面を上にして、コントローラーに過度な負荷をかけないようにしてください。



### 5.4.3. 荷物用バスケットの取り外し

この作業は、荷物用バスケットが取り付けられている場合のみ行います。

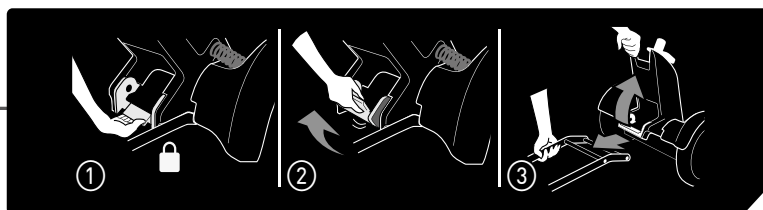
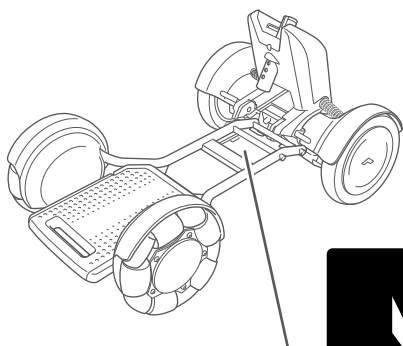
1. 荷物用バスケットの中に入っている物を取り出します。
2. 荷物用バスケットのハンドルを持ってまっすぐ上に持ち上げて、ドライブベースから外します。



#### 5.4.4. ドライブベースの取り外し



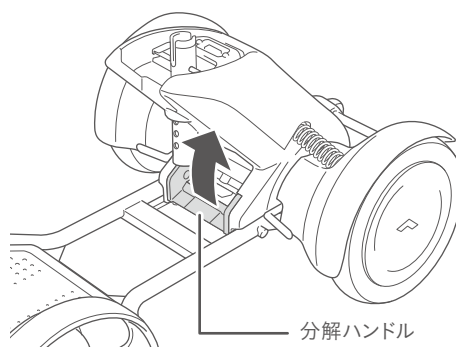
本体の分解手順はラベルにも記載されています。



5

##### 1. 分解ハンドルを持ち上げます。

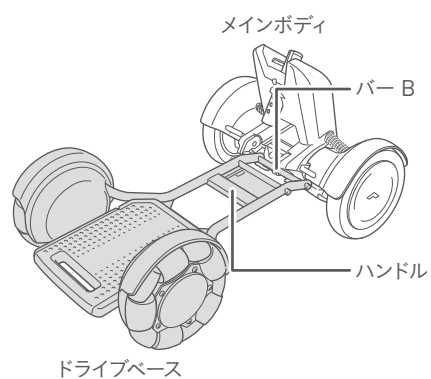
ドライブベースとメインボディのロックが解除されます。



##### 2. ドライブベースの中央部のハンドルを持って、ドライブベース先端のバー B をメインボディのフックから外します。



メインボディが倒れないように、手で支えながら分解するようにしてください。





## 6. 運搬・保管方法

### 6.1. 保管

本製品を保管する際は、以下にご注意ください。

- 火気の近くや可燃性ガスのある環境では保管しないでください。
- 温度 -15 ～ 40℃の場所に保管してください。

バッテリー及び充電器は、充電指定温度である0℃～ 40℃での保管を推奨します。

- 本体を横倒しにしないでください。
- 屋内での保管、または、カバーを掛けて保管してください。

#### 注 意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電してください。

バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。



- 埃や砂が多い場所、および海沿いや温泉地で長期間保管しないでください。

本体に異物が侵入したり、フレームやネジが腐食する可能性があります。

- 重いものを本体に載せたまま長期間保管しないでください。

本体が故障する原因となります。

- バッテリーや本体を傾いた場所、振動の多い場所、高い棚の上などに置かないでください。

バッテリーや本体が破損したり、変形するおそれがあります。

- 直射日光や雨にさらされる屋外に、本体や荷物用バスケットを保管したり、長時間放置しないでください。

雨水で本体がショートしたり、直射日光で本体や荷物用バスケットが変形、劣化する可能性があります。屋内など屋根のある場所に保管してください。

#### ■ 長期間保管する場合

1 カ月以上保管する場合は、本体からバッテリーを取り外し、満充電にしてから保管してください。少なくとも1カ月に1回以上はバッテリーを充電し、本体が正常に動作することを確認してください。

また、長期間使用しなかった本製品を再び使用するときは、使用する前にバッテリーを充電し、必ず本製品が正常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。

## 6.2. 運搬

本製品を運搬する際は、以下に注意してください。

- 持ち運ぶときは、指定の持ち手部分を持つようにし、ほかの部分は持たないでください。
- 公共交通機関を利用する際は、公共交通機関のルールに従ってください。
- 本製品は、誰も乗車していない状態で、陸上輸送及び航空輸送をすることができます。



### 警告



- 人が乗車したままの製品を持ち上げないでください。本体を持ち上げる際は、必ず分解し、分解した部品を持ち上げる際は重量に注意してください。また、バッテリーが挿入されている時に、バッテリーの持ち手を持って機体を持ち上げないでください。

体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。

製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



- 坂道にて、転倒防止バーが地面に接触している、または移動中に地面に接触した場合は、傾斜が本製品の仕様を超えた角度ですので、当該の坂道での利用は中止してください。

転倒防止バーが地面に接触した状態で本体を操作することは、非常に危険であり、本体の制御が不能となるおそれがあります。

6



### 注意



- 自動車のトランクなどに載せる場合は、きちんと固定してください。

本体が破損する可能性があります。

- 本体の運搬にリフトを使用する場合は、きちんと固定してください。

落下して、本体が破損する可能性があります。



飛行機に乗ることが決まったら、事前に航空会社へ電動車椅子の輸送についてご連絡いただき、搭乗方法について確認する必要があります。ご連絡の際に、製品の仕様を航空会社にお知らせください。航空会社係員にお渡しいただく製品仕様の資料は、弊社ホームページの「よくある質問」からダウンロードすることができます。

なお、一部の機体では電動車椅子の輸送ができない場合があります。

### 6.2.1. 各部位の持ちかた

本体を分解して運搬する場合は、指定の部分を持ってください。

#### ■ シート

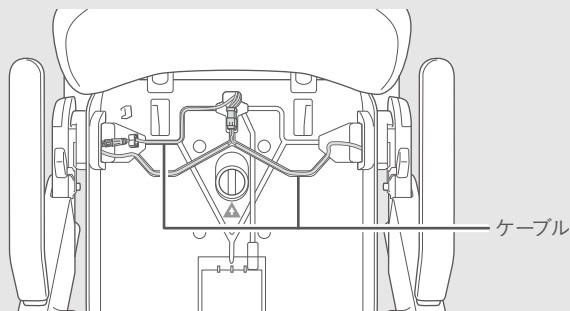
#### ⚠ 警 告



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、それらの機器をマグネットコネクタから最低 20cm 以上離してください。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。

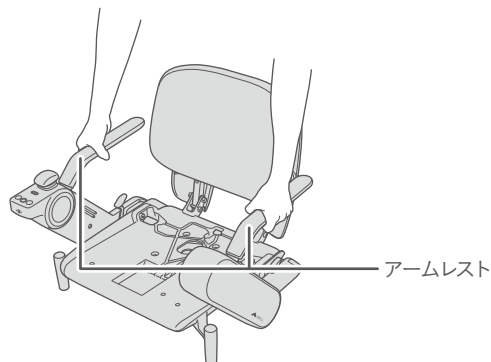


- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
- ケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。  
ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。



ケーブル

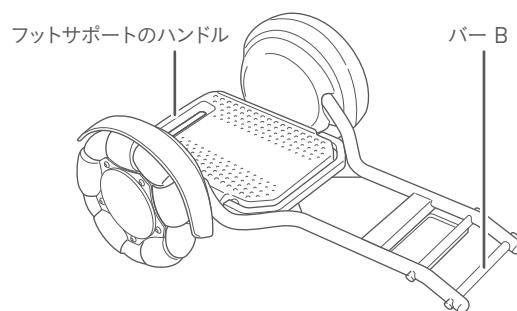
1. アームレストを持って運搬します。



アームレスト

## ■ ドライブベース

1. フットサポートとドライブベースのバー B を持って運搬します。



## ■ メインボディ

### ⚠ 警告

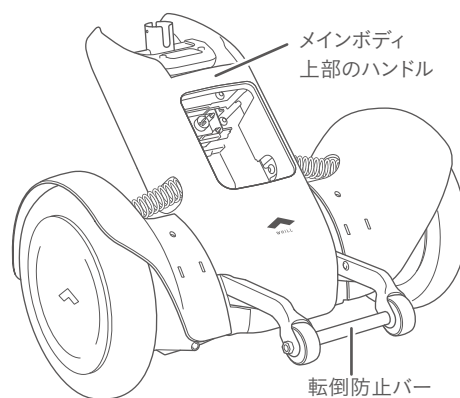


- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

1. メインボディ上部のハンドルと転倒防止バーを持って運搬します。



メインボディは自立しません。取り扱い時には注意してください。



## 7. スマートフォンアプリについて

この章は WHILL Model C2 で使用するアプリの説明です。WHILL Model CK2 のお客様はこちらのアプリはご利用になれません。

Apple 社の iOS が搭載されたデバイス（iPhone や iPad など）や、Android OS が搭載されたスマートフォンに WHILL のアプリをインストールすると、本体の設定をアプリから行うことができます。また、アプリのリモートコントロール機能を使用すると、降車した後に本体を隅に寄せたり、狭い場所に保管する際に乗り降りせずに本体を移動することができます。

お使いの地域、時期、スマートフォンの種類によっては、アプリが提供されていない場合、あるいは一部の機能がお使いいただけない場合があります。

### 注 意



- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で動作を確認してから走行してください。  
製品が想定外の動きをするおそれがあります。



## 8. 保守・点検

### 警 告



- 本書で説明されていない部位についての分解・調整・修理または改造は行わないでください。怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。



- シートの高さ、バックサポートの高さや角度、アームの位置などを調整したい場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたサービスマンが、安全に配慮したメンテナンスを行います。
- メンテナンスマニュアルは個人のお客様には配布しておりません。

### 8.1. お手入れ

本体のお手入れは、以下のように行ってください。

- 外装やタイヤの汚れが目立つ場合は、濡れたタオルで拭き取るようにしてください。タイヤを水洗いするときは、注意して行ってください。
- 汚れがひどい場合は、石油系溶剤の使用は避けて、中性洗剤を使用してください。
- 高圧洗浄は行わないでください。
- 前輪は溝の深さが約 0.5 mm、または芯部分の金属が露出した場合、後輪は溝の深さが約 0.5 mmになったら交換してください。

### 警 告



- タイヤ以外の部品および本体は水洗いしないでください。感電、ショート、腐食するなどして、故障の原因となります。

### 注 意



- お手入れの際にシンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。変色、変形、劣化、破損などの原因となります。
- 先の尖った物でスピーカーの穴をお手入れしないでください。コントローラーが破損する原因となります。
- 本体の可動部や接合部に市販のグリースや油性の防錆剤・ワックスなどを塗布しないでください。べたつきなどで砂利など異物が本体に入り込み、本体が故障するおそれがあります。

## 8.2. スマートキーの電池交換

ディスプレイにスマートキーの電池残量不足が表示された場合は、以下の手順に従ってスマートキーの電池を交換してください。強い負荷をかけると部品の故障の可能性がありますので、注意して作業してください。

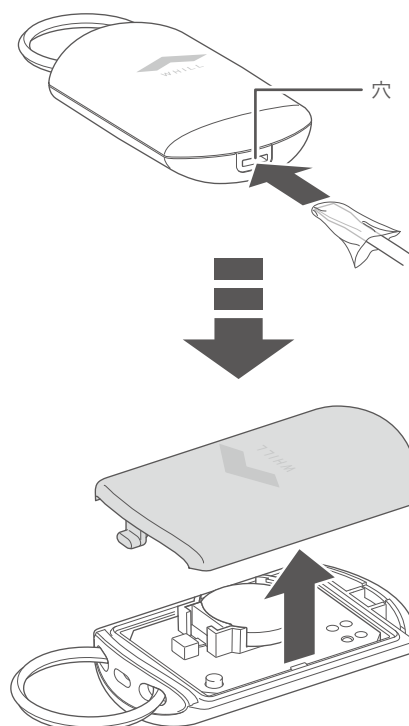
ボタン電池は、「CR2032 3V」（市販品）を使用してください。



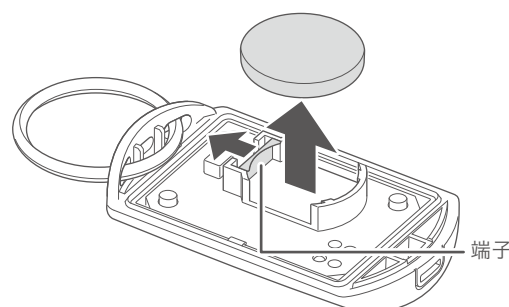
スマートキーの電池残量が不足した場合は、コントローラーのディスプレイに右のような表示が出ます。



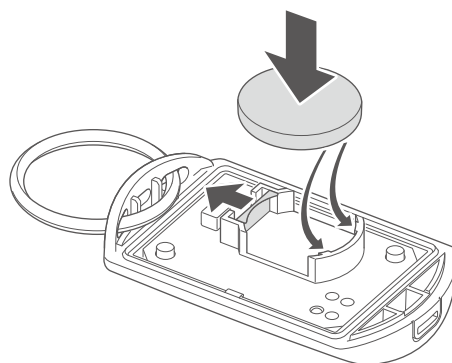
1. ケースの穴に先端を布で巻いたマイナスドライバーを差し込み、ケースを取り外します。



2. 端子を後方に引き、古いボタン電池を電池ケースから取り外します。

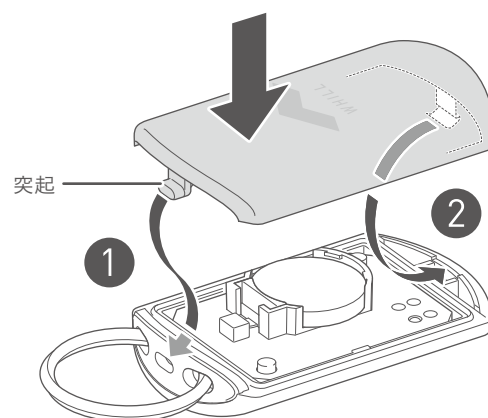


3. 端子を後方に引き、新しいボタン電池を電池ケースのリブの下に入れます。



4. ケースを取り付けます。

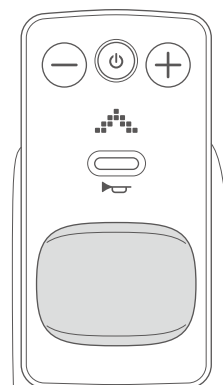
- ① 突起を穴に差し込みます。
- ② WHILL のロゴが印字されているケースの反対側を押しはめ込みます。



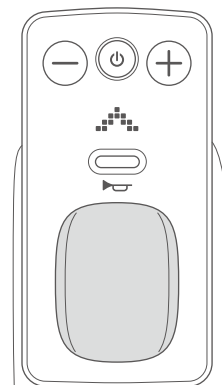
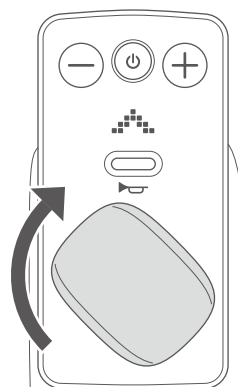
### 8.3. コントローラーの操作部の取り付け

コントローラーの操作部が外れてしまった場合は、以下の手順に従って取り付けてください。

1. コントローラーの操作部を進行方向に対して横向きにはめ込みます。



2. 操作部を時計回りに 90° 回転させます。



## 8.4. 点検

本製品を長くお使いいただくために、取扱店による本製品の点検を定期的（半年に 1 回程度）に行うことをお勧めします。詳しくは、取扱店にご相談ください。

## 8.5. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換

修理・メンテナンス・部品交換が必要な場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

本体に異常がみられたときのメンテナンスは、取扱店にて行います。また、以下のメンテナンスも取扱店にて行います。メンテナンスが必要な場合は、取扱店にご連絡ください。

- バックサポートの交換
- シートベルト（オプション）の取り付け

また、以下の部位は、本体から取り外して個別に修理することが可能です。

- シート
- メインボディ
- ドライブベース

詳細については、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

### 警 告



- 転倒防止バーが変形した場合は、必ず交換してください。  
転倒防止機能が失われ、本体が転倒するおそれがあります。
- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。  
故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

### 注 意



- 部品が摩耗したり、交換が必要な場合は、取扱店にご連絡ください。  
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

## 8.6. 廃棄について

バッテリーを廃棄する際は、Model C2 はリサイクル協力店、Model CK2 は取扱店にご連絡ください。本体および部品を廃棄する際は、自治体のルールに従ってください。不明なことがある場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。

## 8.7. 保証について

Model C2/CK2 の製品保証については、保証書をご確認ください。

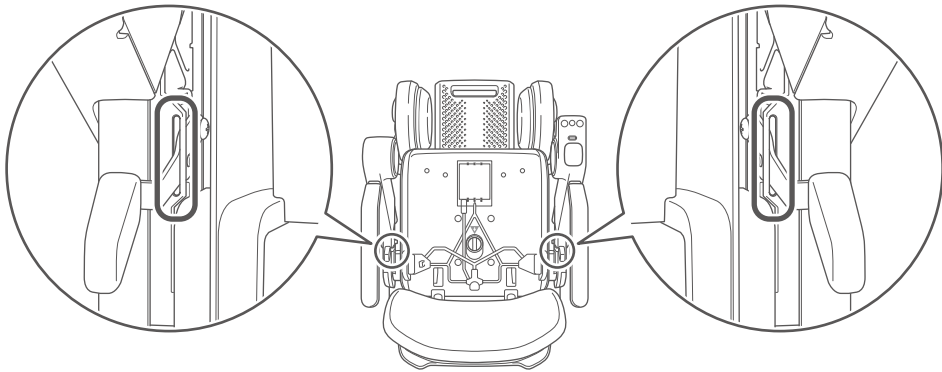


## 9. トラブルシューティング

本体に異常や障害が生じた場合は、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

以下に、ディスプレイの表示内容、原因、および対処方法を説明します。

現象	ディスプレイ表示	原因	対処方法
走行停止後に電源 OFF		アームが上がった状態でコントローラーを操作した	アームを降ろして電源を入れ直してください。
		コントローラーの操作中に電源を入れた	コントローラーに触れないで、電源を入れ直してください。
		ブレーキが解除された	ブレーキをロックして電源を入れ直してください。
		電源が入っている状態で、充電器を接続した / 充電器が接続されている状態で、電源を入れた	充電器をバッテリーから外してください。
右記のようなディスプレイ表示が出る		バッテリーの残量不足	充電してください。
速度が遅くなる		バッテリーの温度が著しく低下した	バッテリーを室温、もしくは0℃以上の場所に保管して、バッテリーの温度が0℃以上に戻るまでお待ちください。
速度が速くなる		バッテリーの温度が0℃以上になった	—
右記のような音声とディスプレイ表示が出る		スマートキーの電池残量不足	スマートキーの電池を交換してください。
本体の電源が入らない。ディスプレイ表示とテールライトのどちらも点灯しない	なし	バッテリーの残量不足	充電してください。
		本体にバッテリーがしっかり取り付けられていない	バッテリーをしっかりと本体に押し込んで取り付けてください。
		一度バッテリーを取り外し、10 秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。	一度バッテリーを取り外し、10 秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。
		シートとメインボディの間にあるコネクタに異物が挟まっている	コネクタピンの周りに異物がないか確認してください。コネクタが汚れていると、電気が通らず、電源が入らない可能性があります。

現象	原因	対処方法
アームロックレバーが戻らない、動きにくい	粉塵などの異物がアームの根本部分に詰まり、ロックレバーが動かなくなる	アームの根本部分を点検、ブラシやエアダスターなどを使用して清掃してください。
		



- ディスプレイに表示されるエラーコードの数字は、赤い縦線と共に表示されます。
- リストにないエラーが表示された場合、あるいはトラブルシューティングに従って対処しても問題が解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。



# 10. 仕様・試験結果

## 10.1. 仕様

### ■ 本体

製品名称	WHILL Model C2/CK2
製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1番11号
最大重量	115 kg（乗員・荷物含む）
移動方式	二輪駆動
速度切り換え	4 段階
ブレーキ方式	電磁ブレーキ
前輪タイプ	オムニホイール／外径 257 mm
後輪タイプ	標準：ノンパンクタイヤ／外径 265 mm
アーム	跳ね上げ式
最大許容傾斜	10°
航続距離	18 km
最大耐荷重	115 kg
テールライト	LED ランプ（赤）
充電時間	5 時間
使用環境	-15 ～ 40° C
ピボット幅	760 mm
コントローラーの操作力	1N
本体のノイズレベル	通知音を除き 65 dB 以下
バッテリー製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1番11号
バッテリータイプ	リチウムイオン電池
公称電圧	25.3 V
定格容量（5 時間率）	10.6 A

## ■ 充電器（Model C2/CK2 専用）

定格電源	100-240 V、50/60 Hz
定格直流出力電流	2.6 A
定格直流出力電圧	29 V
使用環境、充電環境	0 ~ 40° C
適合バッテリータイプ	リチウムイオン電池
対象となるバッテリーの定格容量（5 時間率）	10.6 A
コネクタピンの割り当て	Pin1: +
	Pin2: -
	Pin3: 検出
	Pin4: 未接続
[Type reference] 充電器のタイプ	非搭載型
使用者が操作可能な保護ヒューズの定格電流	当該ヒューズなし
充電器の製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2 丁目 1 番 11 号

## ■ アンテナ

ファンクション	周波数	最大出力
BLE（Bluetooth Low Energy）	2402 - 2480 MHz	6 dBm

## 10.2. 寸法と試験結果

テストダミーの質量 : 115 kg

本製品は ISO 7176-14 の要件をすべて満たしています。

項目	最低値	最高値
全長（フットサポート含む）	-	985 mm
全幅	-	554 mm
本体質量	-	51.9 kg
分解時の最も重い部品（メインボディ）	-	19.4 kg
航続距離	-	18 km
障害物乗越高さ（前進時）	-	50 mm
最大前進速度	-	6 km/h
座面角度	-	5°
有効座面長さ	-	400 mm
有効座面幅	-	400 mm
座面前端の地上高	440 mm	520 mm
バックサポート角度	90°	100°
バックサポート高さ	745 mm	945 mm
フットサポートから座席までの高さ	313 mm	393 mm
座面と脚の角度	-	85°
アームレストから座面の距離	245 mm	305 mm
アームレストの前端位置	419 mm	463 mm
車軸の水平方向の位置	-	48 mm
最小回転半径	-	760 mm
シート重量	-	12.2 kg
メインボディ重量	-	19.4 kg
ドライブベース重量	-	17.6 kg
バッテリー重量	-	2.7 kg
最大制動距離	-	900 mm



# 索引

## E

EMI ..... 10

## あ

アーム ..... 13, 94

長さ調整 ..... 60

アームレスト ..... 13

アクセサリ ..... 15

アクセサリ装着バー ..... 13

アプリ ..... 88

安全上のご注意 ..... 6

## い

移動 ..... 38, 41

## う

運転 ..... 38

運搬 ..... 85

## え

エラーコード ..... 96

## お

お手入れ ..... 90

お問い合わせ先 ..... 104

オムニホイール ..... 13

## か

回転 ..... 42

鍵をかける ..... 48

各部のはたらき ..... 12

各部の名称 ..... 12

## く

組立方法 ..... 52

シート ..... 55

ドライブベース ..... 53

荷物用バスケット ..... 54

バッテリー ..... 58

メインボディ ..... 53

## け

警告表示 ..... 2

警告ラベル ..... 11

## こ

後輪 ..... 13

コントローラー ..... 13, 41, 42, 43

左右交換 ..... 62

コントローラーの操作部 ..... 41

コントローラーの操作部の取り付け ..... 93

コントローラーヘッド（操作部） ..... 13

## さ

最高速度の調整 ..... 37

サウンドボタン ..... 13, 37

## し

シート ..... 50, 55, 79, 86, 94

高さ調整 ..... 69

シートクッション ..... 56, 62

シート調整ポスト ..... 70

シート分解レバー ..... 13, 57, 79

シートベルト ..... 35, 94

試験結果 ..... 98

自動車のトランク ..... 85

充電器 ..... 13, 18

充電方法 ..... 19

充電ランプ ..... 26

修理 ..... 94

仕様 ..... 98

乗車 ..... 30

乗車前点検 ..... 29

シリアルナンバー ..... 14

## す

スピーカー ..... 13

スマートキー ..... 13, 48

電池交換 ..... 91

スマートフォン ..... 88

スマートフォンアプリ ..... 88

寸法 ..... 100

## せ

製品情報 ..... 14

前輪 ..... 13

<b>そ</b>		<b>ふ</b>	
操作方法 .....	28	部位の名称 .....	50
速度調整ボタン .....	13	フットサポート .....	13, 94
速度の調整 .....	43	部品交換 .....	94
<b>ち</b>		ブレーキ .....	45
調整方法 .....	59	ブレーキ解除レバー .....	13, 45
<b>て</b>		ブレーキの解除 .....	45
停止 .....	42	分解ハンドル .....	13, 82
ディスプレイ .....	13, 96	分解方法 .....	77
テールライト .....	13	シート .....	79
点検 .....	90, 94	ドライブベース .....	82
電源ボタン .....	13, 36	荷物用バスケット .....	81
電源を入れる .....	36	バッテリー .....	78
電磁波干渉 .....	10	メインボディ .....	82
電池残量 .....	37	<b>ほ</b>	
転倒防止バー .....	13	保管 .....	84
<b>と</b>		保守 .....	90
ドライブベース .....	51, 53, 82, 87, 94	<b>め</b>	
トラブルシューティング .....	96	メインボディ .....	51, 53, 82, 87, 94
<b>に</b>		メンテナンス .....	94
荷物用バスケット .....	13, 46, 51, 54, 81	<b>も</b>	
<b>は</b>		持ちかた .....	86
バックサポート .....	13, 47, 94	<b>ら</b>	
角度調整 .....	74	ラベル .....	11
高さ調整 .....	72	<b>ろ</b>	
バックサポートクッション .....	72	ロック解除ボタン .....	18, 23
バッテリー .....	13, 16, 18, 51	ロックする .....	48
残量確認 .....	24, 37		
充電 .....	19		
充電ランプ .....	26		
取り付け .....	58		
取り外し .....	78		
バッテリー LED .....	18, 24		
バッテリーの充電 .....	16		
バッテリーの取り付け .....	58		
バッテリーの取り外し .....	78		

---

# お問い合わせ先

お買い上げ時の取扱店が、修理・メンテナンス・部品交換、および不明点のご相談をお受けいたします。また修理の際の代車の有無についても、取扱店にお問い合わせください。製品の保証の詳細については、取扱店にお問い合わせください。また、製品の安全に関する注意事項や製品リコールに関する情報について連絡を差し上げる場合がございますので、最新の連絡先を取扱店にお知らせください。

## ■ 取扱店

## ■ 製造販売元

WHILL 株式会社  
住所：〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目1番11号  
お問い合わせ (WHILL コンタクトデスク) :  
0120-062-416 (IP 電話の方：050-3085-9840)  
ウェブサイト : <https://whill.inc>

## ■ アプリ登録パスワード

